令和３年度　卒業時における学修成果達成度調査報告書

令和４年６月１日

別府大学

大学企画運営会議

ＩＲセンター

卒業時における学修成果達成度調査報告

別府大学 IR センター

卒業時における学習成果達成度調査の目的

本学では平成 30 年に３ポリシーの見直しを実施し PDCA サイクルのシステムを確立した。この PDCA サイクルにおいて、学修成果の評価指標の一つとして学生自身による学修達成度評価を掲げており、すでに「ポートフォリオ学修支援システム」において半期毎に学生による履修科目毎の自己評価が実施・蓄積され学生指導・教育改善に活用されているところである。本学の教育・研究環境のさらなる向上を目的として、この科目毎の学修達成度の自己評価を総括するための在学期間全体を通した学修成果の達成度調査を卒業時に実施する。

１．調査の実施方法

調査の実施は、原則として e-learning システム（moodle）のアンケート機能を利用して、ネットワーク上からの回答とした。個別に筆記による回答が必要なものについては、印刷したものに回答を願い、代理入力を行った。

調査対象

別府大学全学部全学科を卒業することが確定している学生 467 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 90%以上を目標とした。

調査期間

調査期間は、2022 年 1 月 4 日～3 月 20 日を調査期間として、調査を実施した。

調査内容

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、１．教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、２．専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、３．汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5 項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答 3 問を含む 9 項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査の各設問については、資料 1 として、本報告書の文末に添付した。

２．調査実施結果

１）学習成果達成度調査の回収実績

各学科の卒業者数と調査回答数と回答率を下の表１にまとめた。大学全体での回答実績は 92%となった。

表１．卒業時における学習成果達成度調査回答状況

所属学科	卒業生数	回答数	未回答数	回答率
国際言語・文化学科	75	71	4	95%
史学・文化財学科	111	104	7	94%
人間関係学科	74	71	3	96%
食物栄養学科	58	57	1	98%
発酵食品学科	27	25	2	93%
国際経営学科	122	96	26	77%
計	467	424	43	92%

自由記述については、個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

調査項目ごとに、大学全体及び学科別の主観的修得状況についての集計結果をそれぞれの百分率により、グラフ化した。

１．教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

教養の（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の項目として、(1) 思考力や表現力などの基礎的素養、(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解、(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力、(4) 人間と文化の探求に必要な教養、(5) 現代社会の理解に必要な教養、(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養、(7) 情報処理の基本的なリテラシー、(8) 英語の基本的なリテラシーの修得について質問を行った。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養

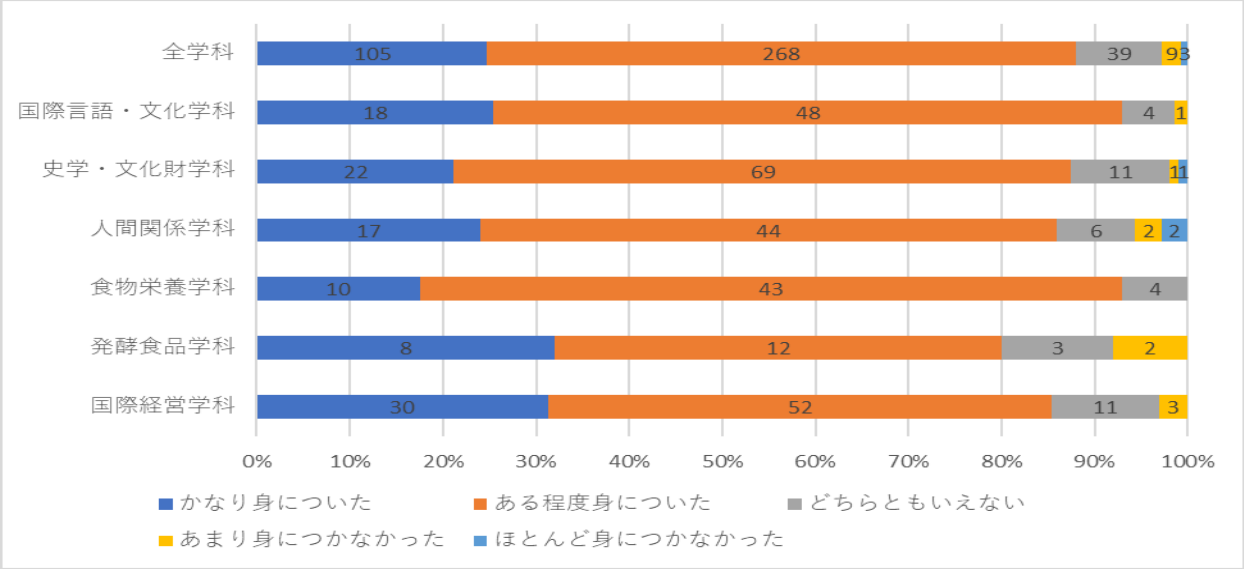

図 1. 思考力や表現力などの基礎的素養の修得に対する主観的評価

思考力や表現力などの基礎的素養について大学全体では 88%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科 80%を超える高い数値になっている。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解

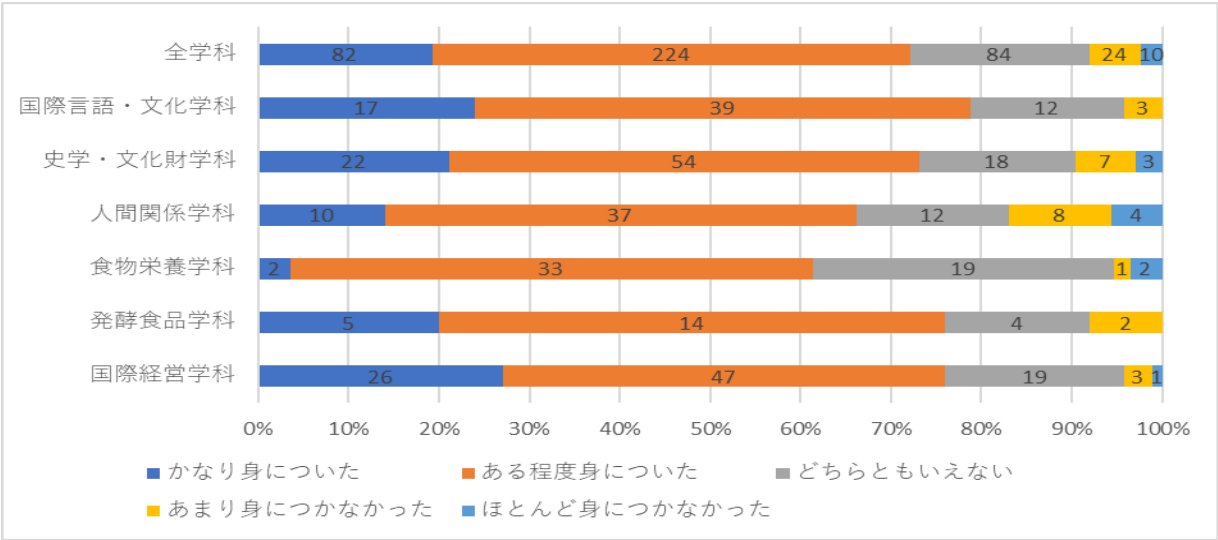

図 2. 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的評価

本学の建学の理念、教育方針等の理解について大学全体では 72%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は 61%とやや低い数値となっている。

（3）特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力

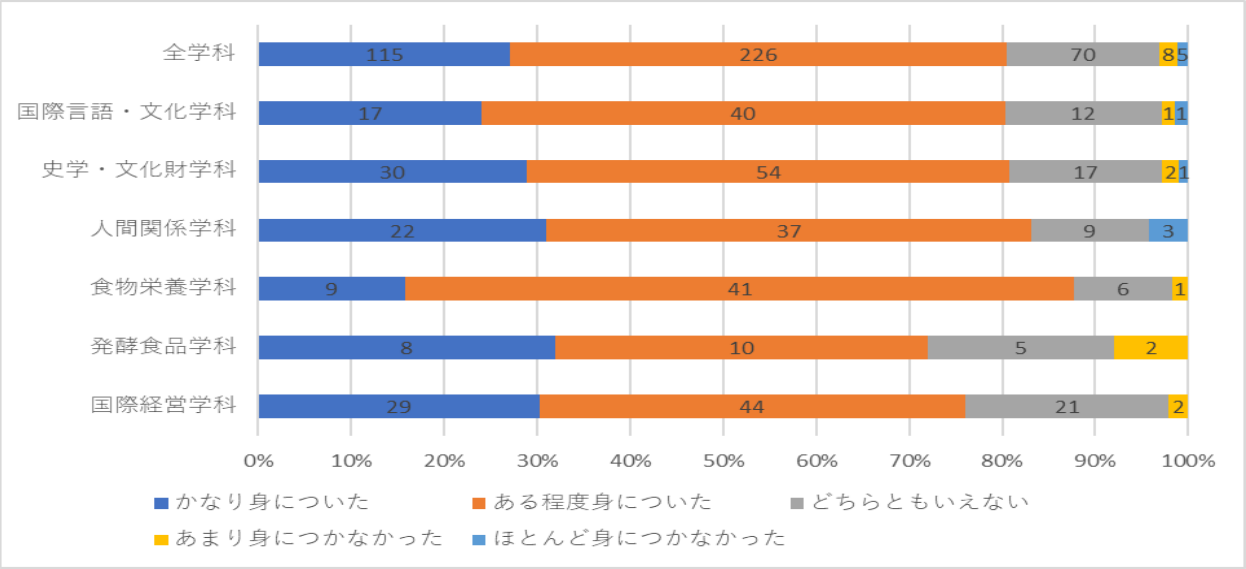

図 3. 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価

特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力について、大学全体では 80%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 72%とやや低い数値となっている。

（4）人間と文化の探求に必要な教養

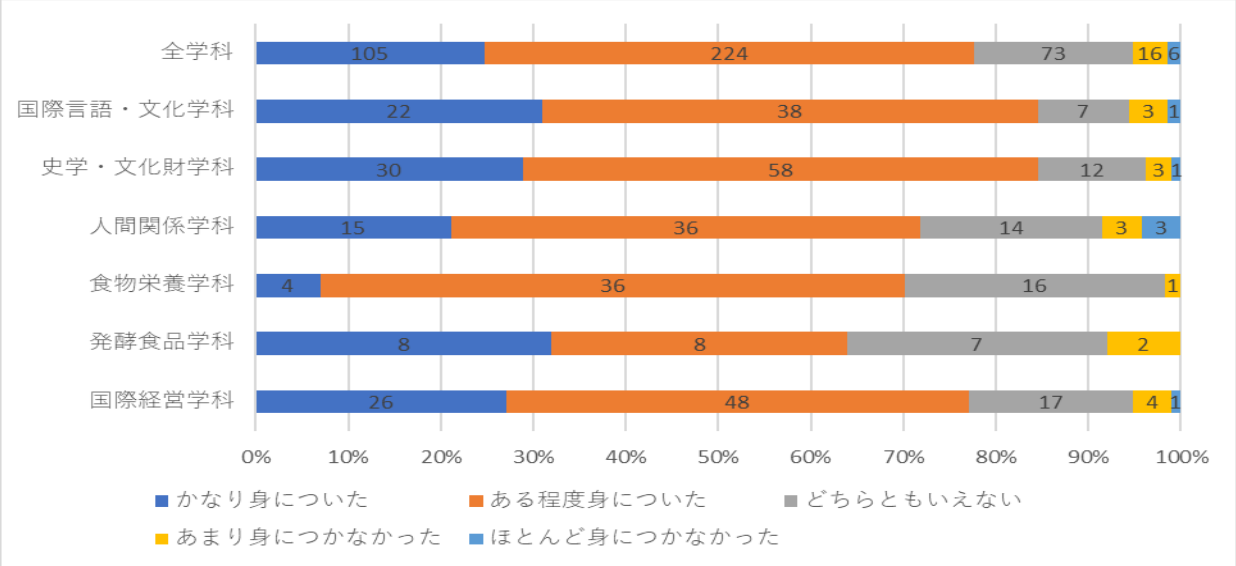

図 4. 人間と文化の探求に必要な教養の修得に対する主観的評価

人間と文化の探求に必要な教養について大学全体では 78%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 64%とやや低い値を示した。

（5）現代社会の理解に必要な教養

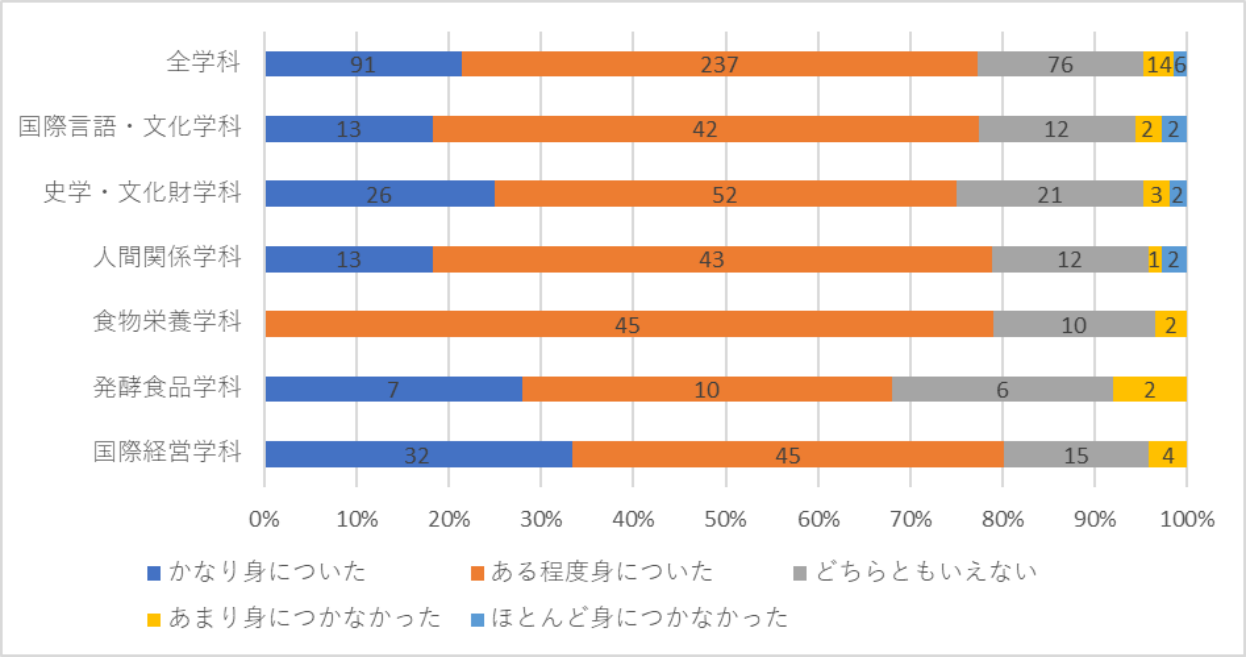

図 5. 現代社会の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

現代社会の理解に必要な教養について大学全体では 77%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 68%とやや低い値を示した。

（6）科学技術と自然環境の理解に必要な教養

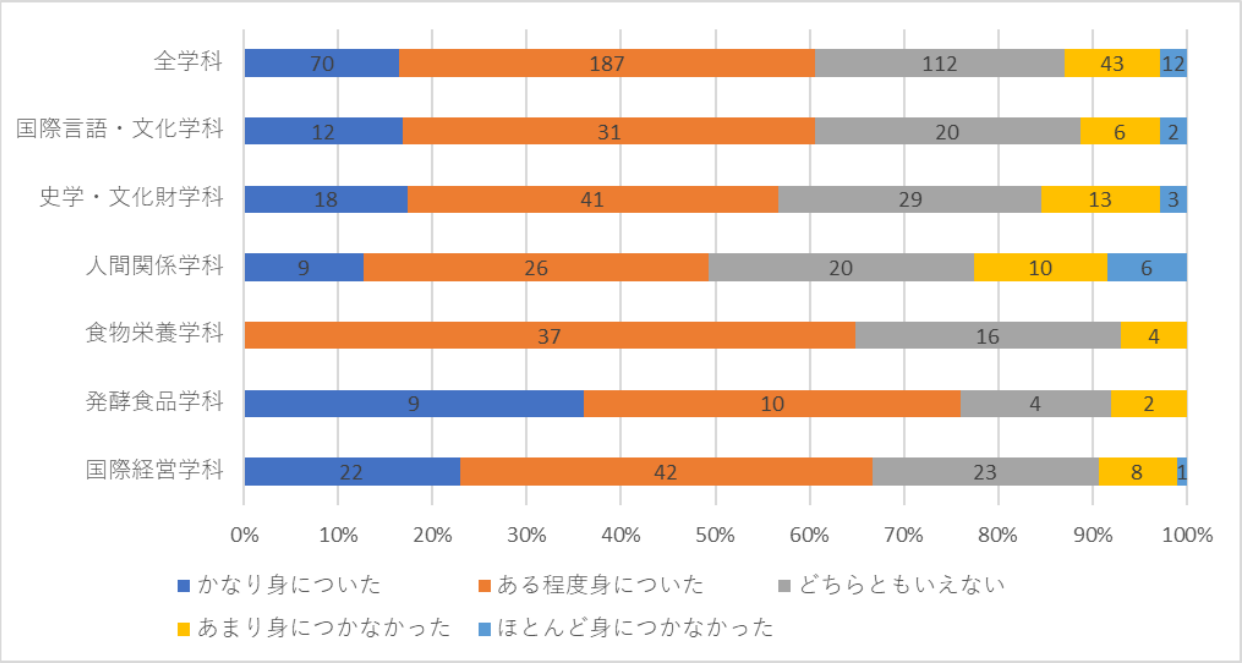

図 6. 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

科学技術と自然環境の理解に必要な教養について大学全体では 61%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科は、50%未満と低い値を示した。発酵食品学科は 76%と高めの値となっている。

（7）情報処理の基本的なリテラシー

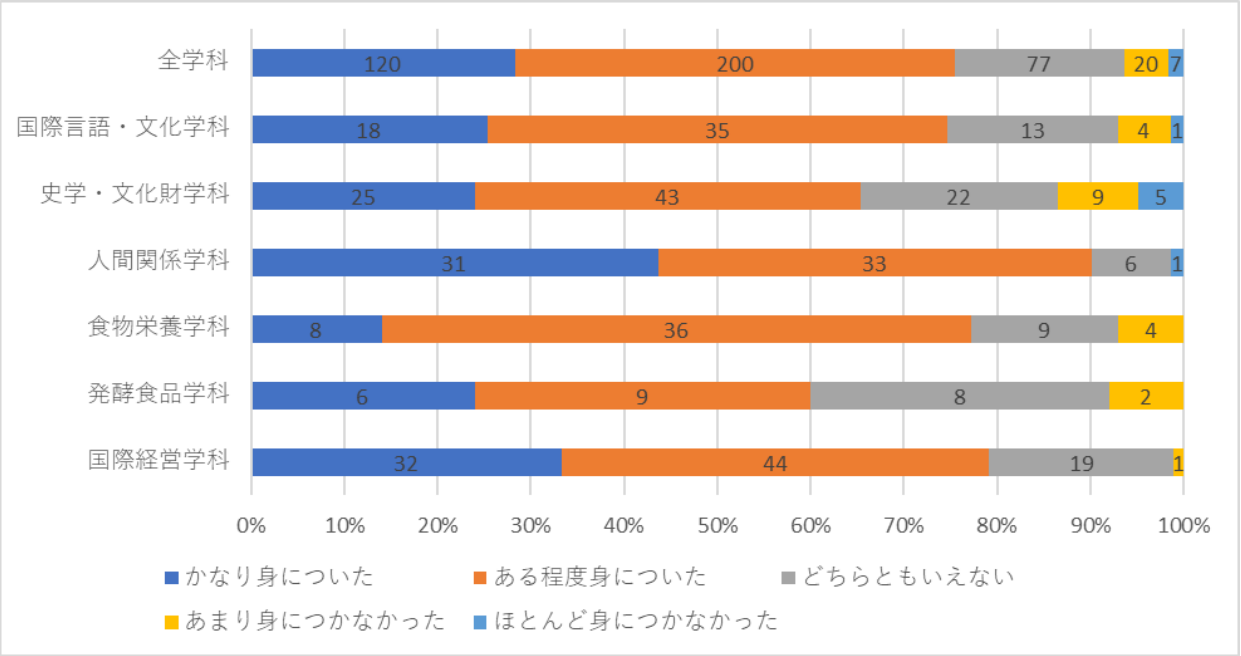

図 7. 情報処理の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

情報処理の基本的なリテラシーについて大学全体では 75%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科は 90%と高い値を示した。発酵食品学科は 60%と低い値を示した。

（8）英語の基本的なリテラシー

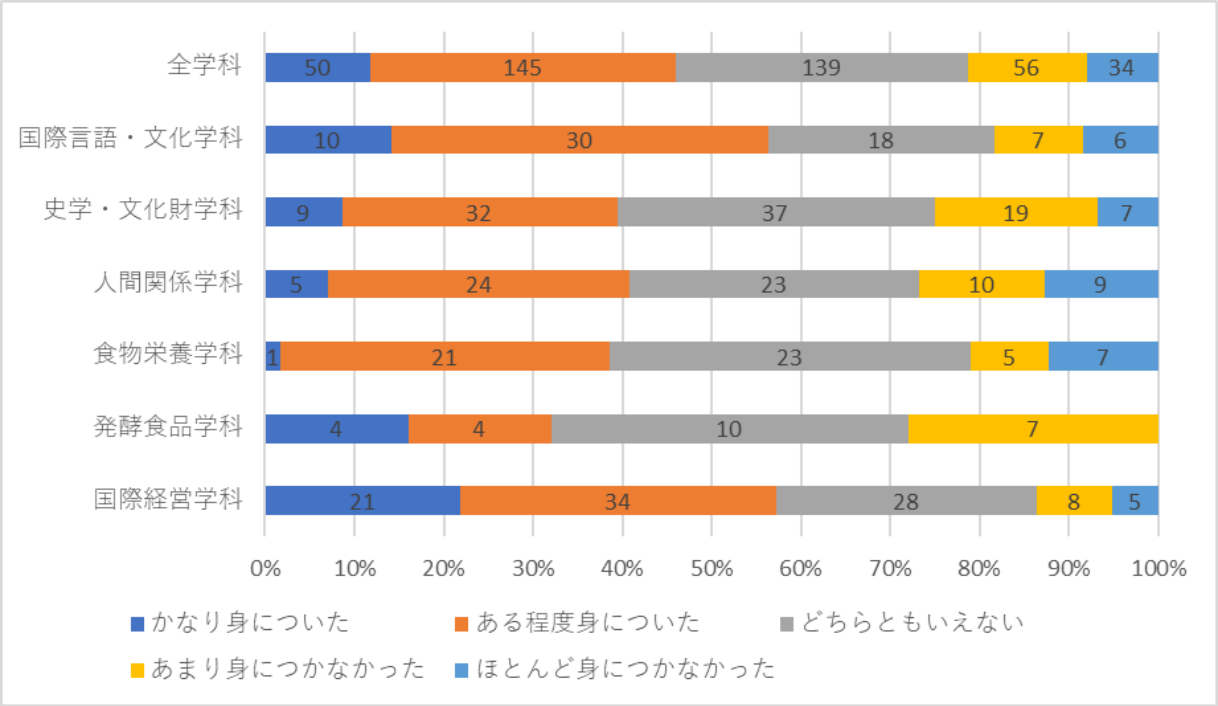

図 8. 英語の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

英語の基本的なリテラシーについて大学全体では 46%の学生が、「ある程度身についた」以上で非常に低い回答になっている。国際言語・文化学科と国際経営学科は 50%とやや高い値を示した。史学・文化財学科と食物栄養学科と発酵食品学科は 40%未満と低い値を示した。

２．専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

専門力について（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況、（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解の 2 点について主観的修得状況を問う質問を行った。

（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況

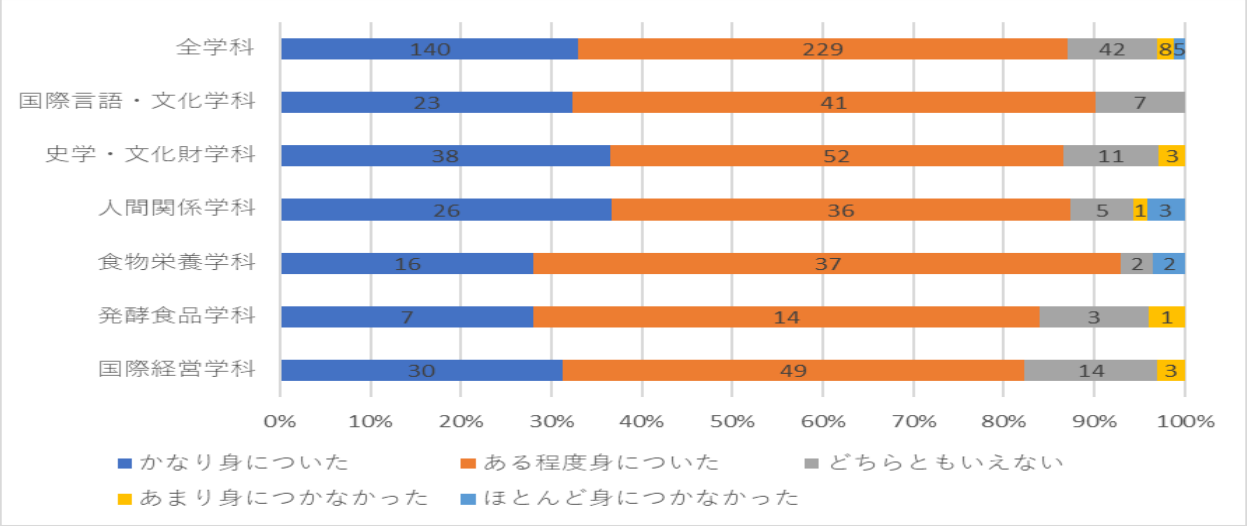

図 9. 専門分野の基本的な知識や技術の修得に対する主観的評価

専門分野の基本的な知識や技術の修得について大学全体では 87%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際言語・文化学科と食物栄養学科は 90%を超える高い値を示した。

（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解

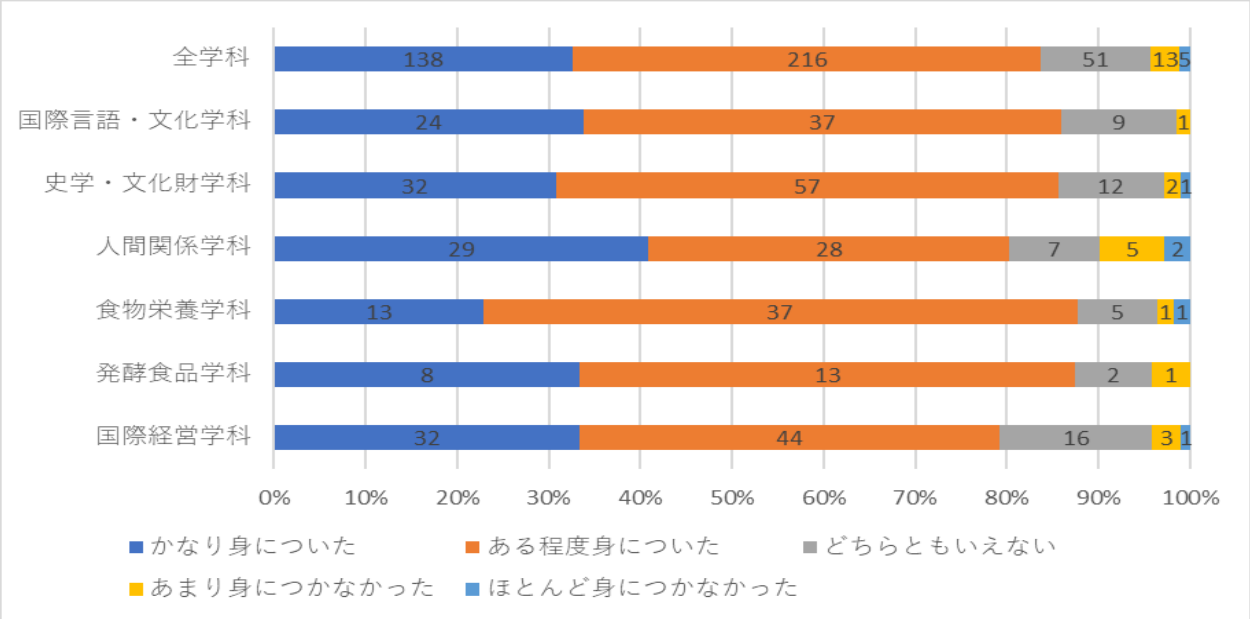

図 10. 専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の修得に対する主観的評価

専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解について大学全体では 83%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際経営学科は 79%とやや低い値を示した。

３．汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

汎用力（社会で活躍できる汎用性のある能力）の修得については、(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）、(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）、(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力、(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけ、豊かなコミュニケーション力、(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集･分析力、PCスキルなどを含む)について、主観的修得状況を質問した。

（1）論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）

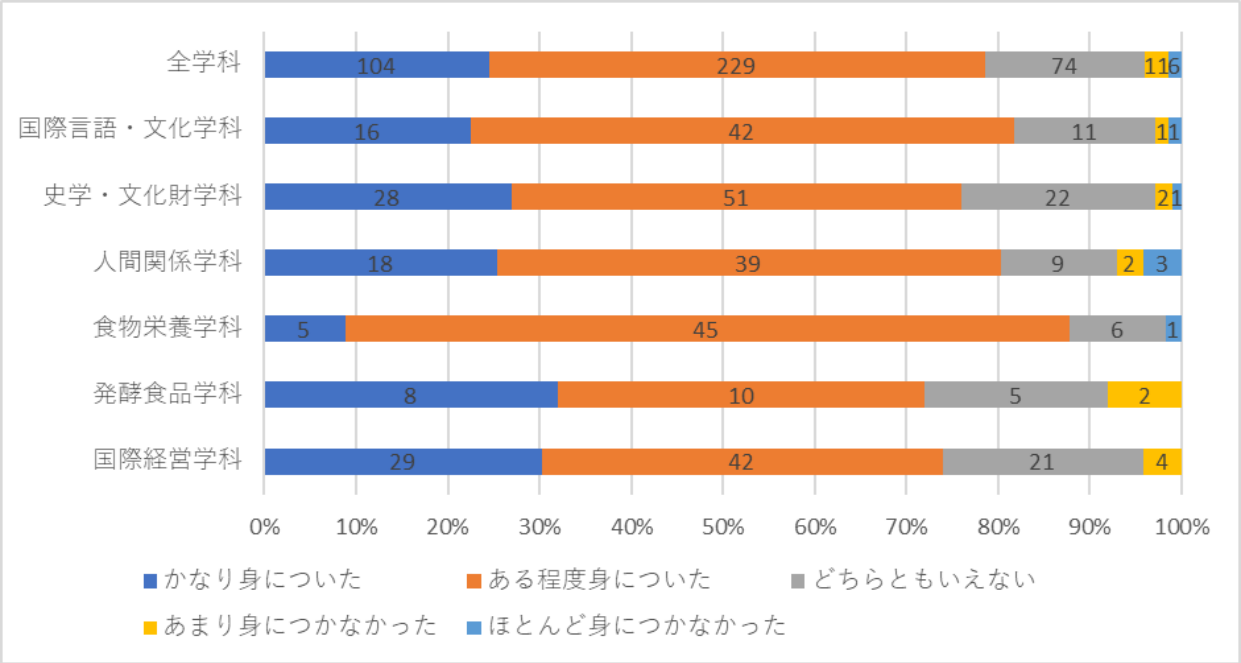

図 11. 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力の修得に対する主観的評価

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）について大学全体では 79%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際言語・文化学科と人間関係学科と食物栄養学科は 80%を超える高い値を示した。

（2） 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）

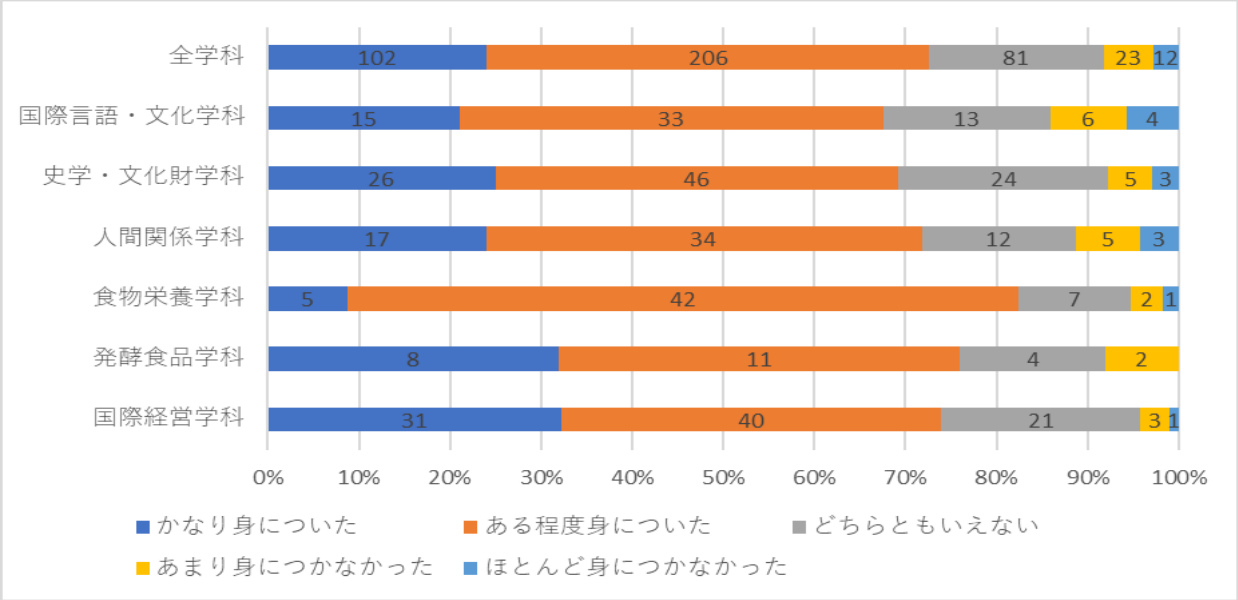

図 12. 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の修得に対する主観的評価

組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）について大学全体では 73%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は 82%と高い値を示した。

（3）自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力

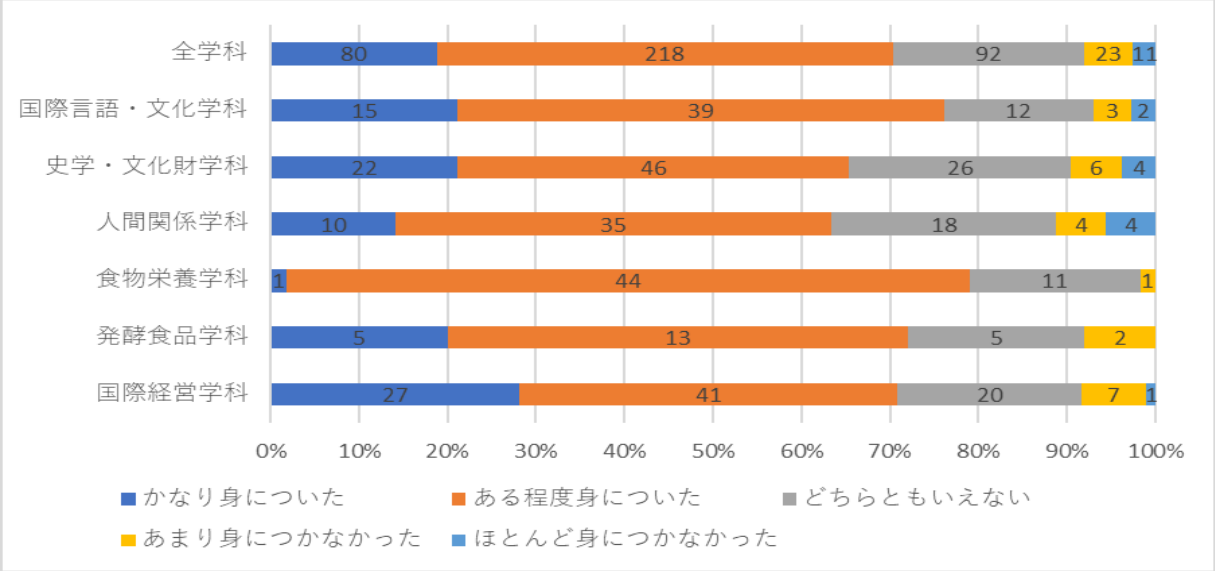

図 13. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の修得に対する主観的評価

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力について大学全体では 70%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。史学・文化財学科と人間関係学科は 70%未満とやや低い値を示した。

（4） 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力

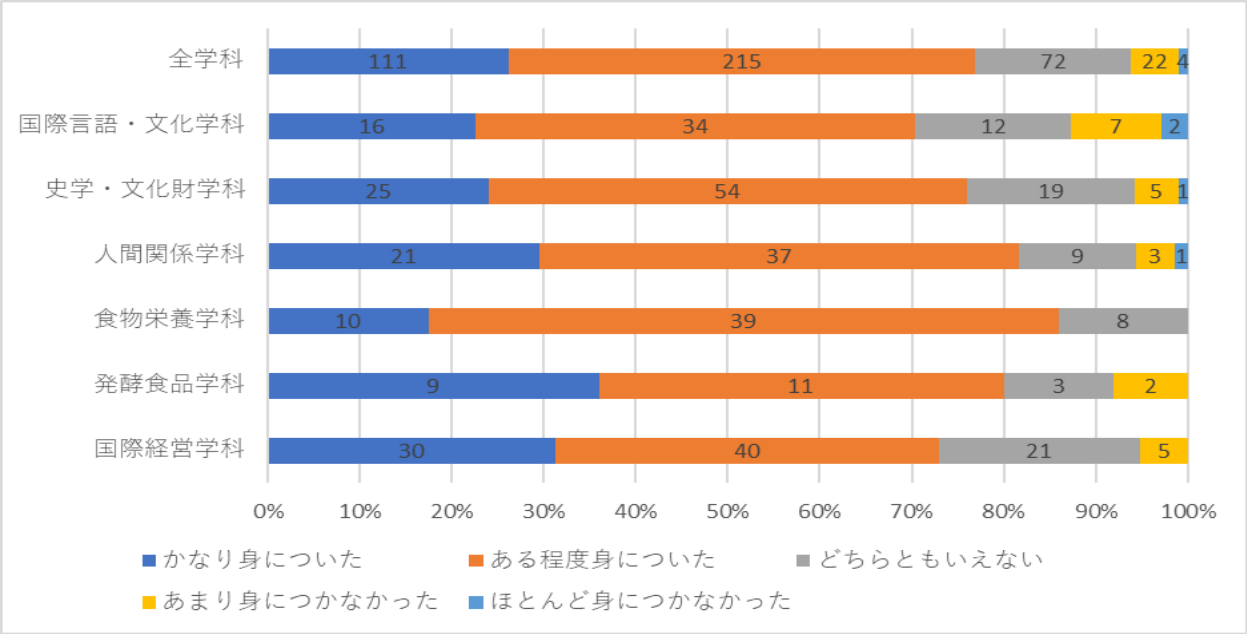

図 14. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の修得に対する主観的評価

場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力について大学全体では 77%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科と食物栄養学科は 80%を超える高い値を示した。

（5）我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集･分析力、PCスキルなどを含む)

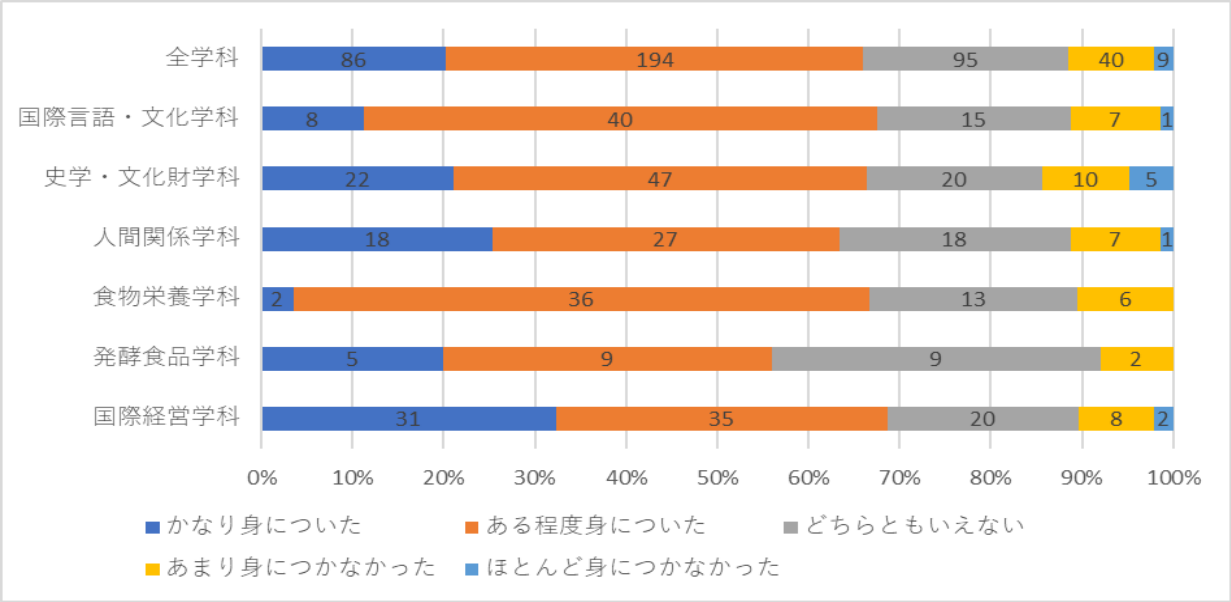

図 15. 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力の修得に対する主観的評価

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力について大学全体では 66%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 56%と低い値を示した。

４．その他

その他として（1）在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと、（2）卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度、(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見（自由記述）、（4）あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験（自由記述）、（5）卒業後の進路への満足度、（6）大学で学びと自身の進路への貢献度、（7）大学に期待すること（自由記述）、（8）卒業する学科に期待すること（自由記述）、（9）後輩へのメッセージ（自由記述）の質問を行った。

（1）在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことについて、学科別の集計を図 16 に示した。

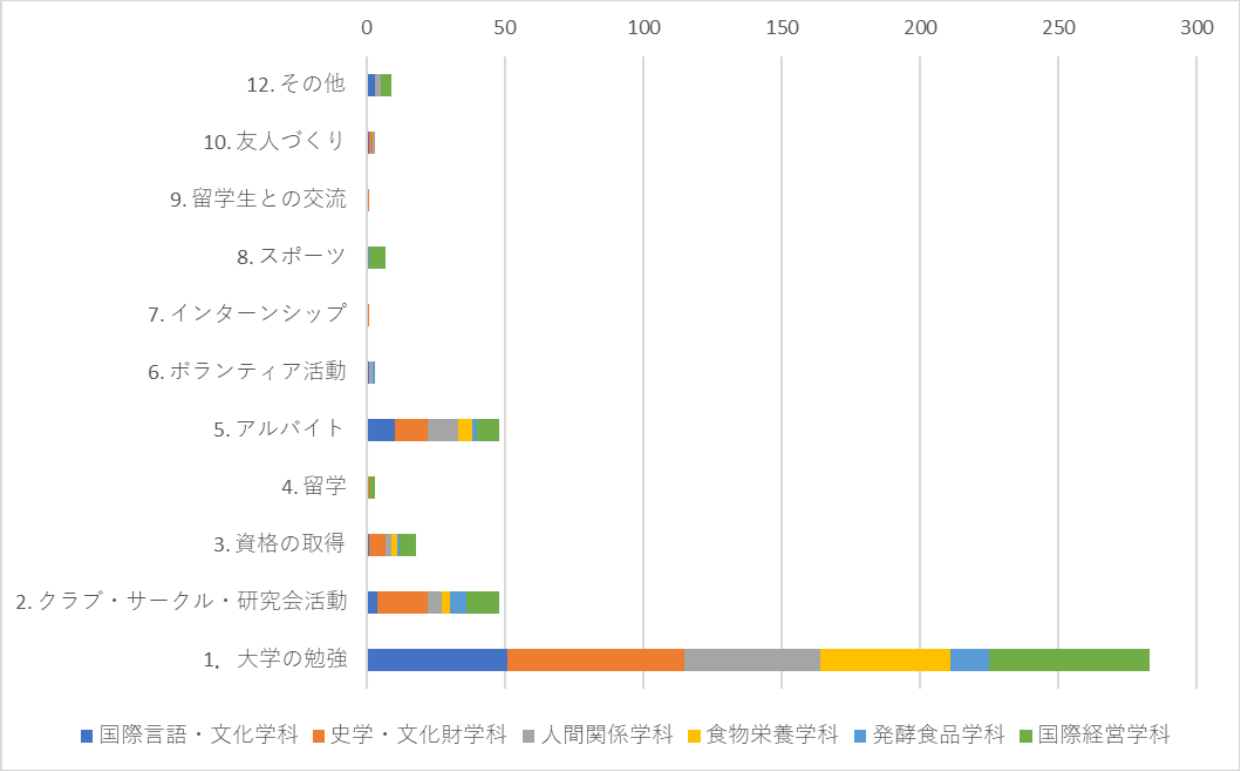

図 16. 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと

6 学科を超えて、複数回答において最も多く回答があったものは、大学の勉強であった。また次いでクラブ・サークル・研究会活動、アルバイト、資格の取得の順にあげられた。一方で、留学生との交流やインターンシップなどには経験者が少なく、また学科による偏りも大きい傾向があった。

（2）卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度についての集計を図 17 に示した。

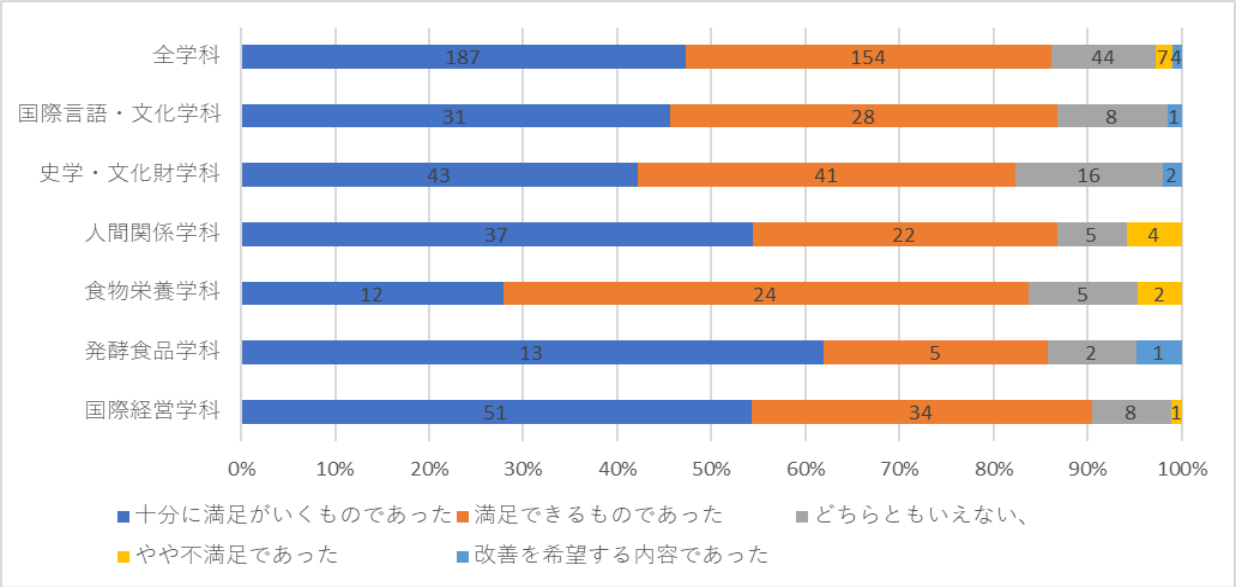

図 17. 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度

卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度については、大学全体では 80%の学生が、「満足できるものであった」以上で回答している。国際経営学科では 90%を超える高い値を示した。

（3）卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 18 に表示する。
（https://textmining.userlocal.jp/）

図 18. 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生からの自由記述にある、卒業論文作成における図書の貸し出しや教員の指導及びコロナ禍での不安などが関連を持っていることが示される。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 2 として添付する。

（4）あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 19 に表示する。（https://textmining.userlocal.jp/）

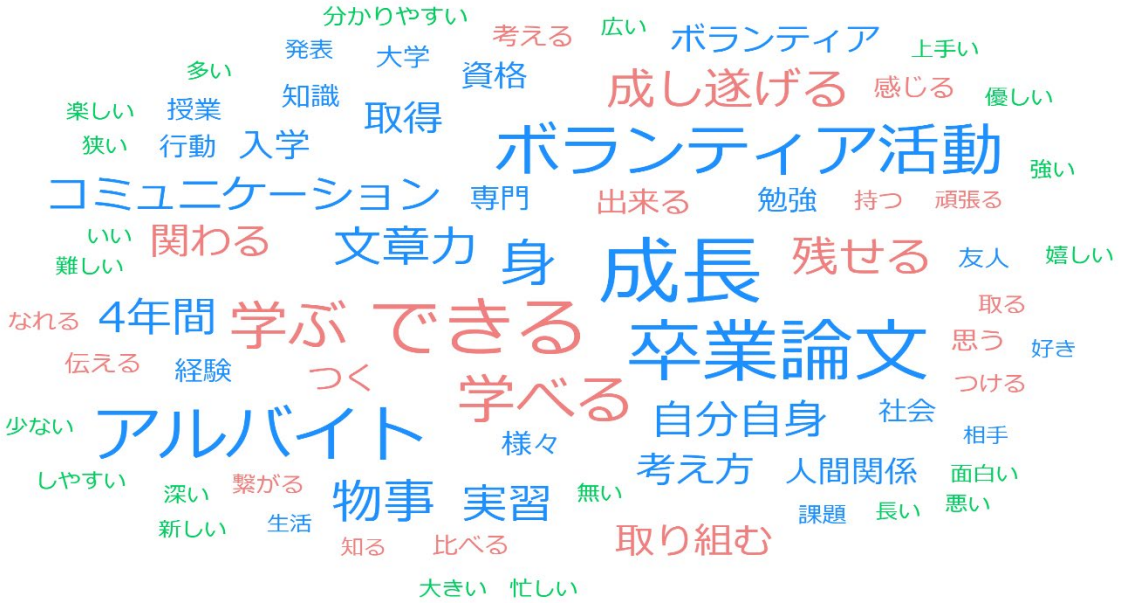

図 19. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述のワードクラウド分析結果

自分が成長できたと思う経験についての自由記述をワードクラウド分析した結果、ボランティア活動やアルバイトなど、様々な人々との関わりと学生の成長との関連が示された。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 3 として添付する。

（5）卒業後の進路への満足度についての集計を図 20 に示した。

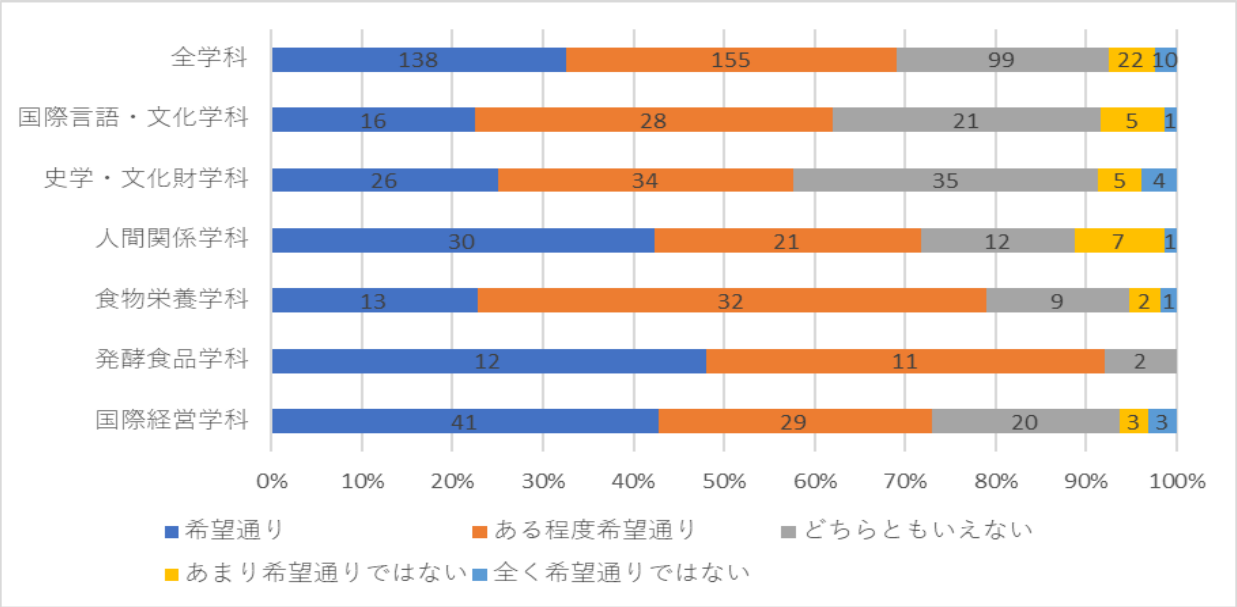

図 20. 卒業後の進路への満足度

卒業後の進路への満足度については、大学全体では 69%の学生が、「ある程度希望通り」以上で回答している。発酵食品学科は 92%と高い値を示した。史学・文化財学科は 58%と低い値を示した。

（6）大学での学びと自身の進路への貢献度についての集計を図 21 に示した。

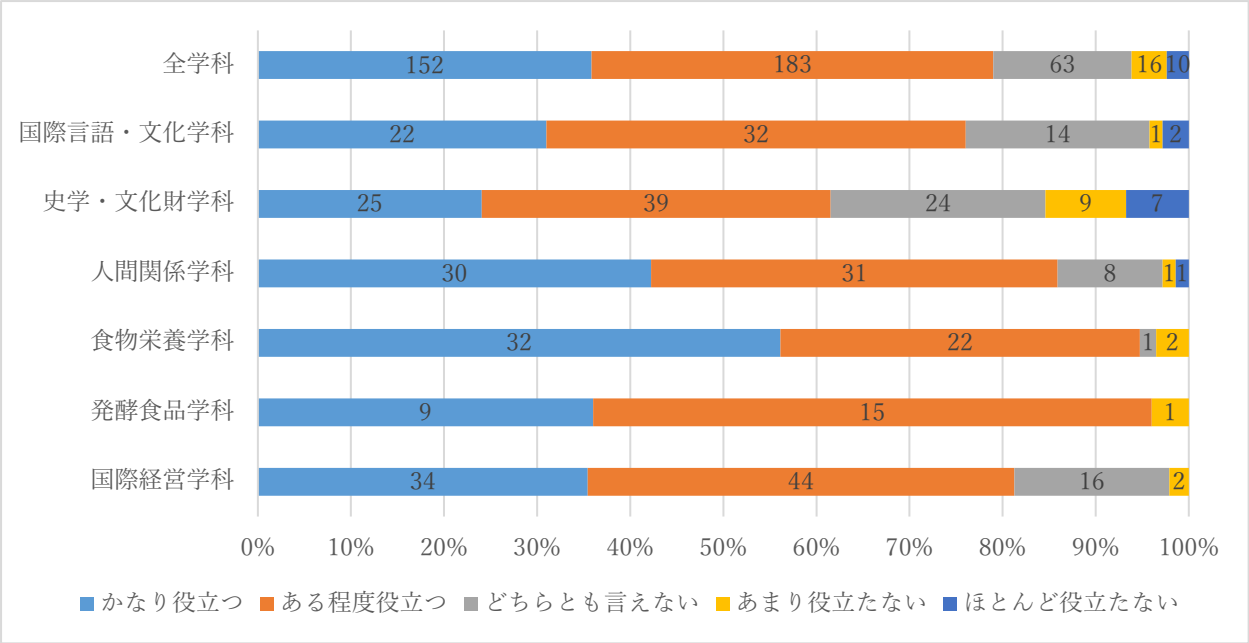

図 21. 大学での学びと自身の進路への貢献度

大学での学びと自身の進路への貢献度については、大学全体では 79%の学生が、「ある程度役立つ」以上で回答している。食物栄養学科と発酵食品学科は 90%を超える高い値を示した。

（7）大学に期待することに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて分析した結果を図 22 に表示する。(https://textmining.userlocal.jp/)

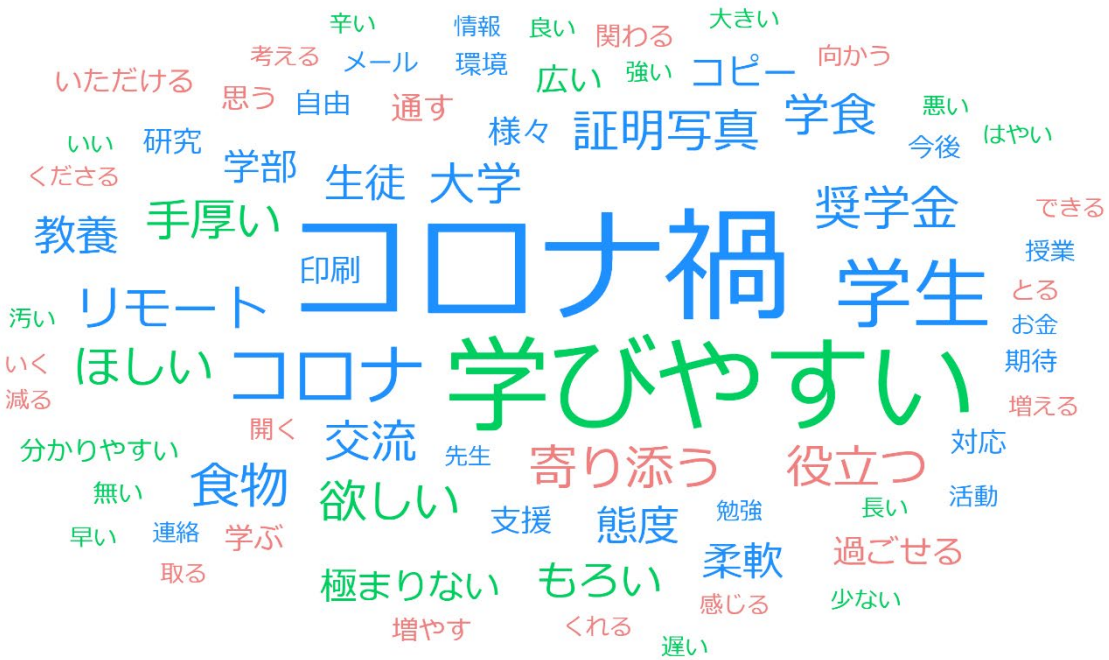

図 22. 大学へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生の記述にあるように、コロナ禍によるオンライン授業・ＺＯＯＭ講義や奨学金制度など大学が検討すべきことが述べられている。

（8）卒業する学科に期待することに関する自由記述を学科ごとに、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 23～図 28 に表示する。
（https://textmining.userlocal.jp/）。

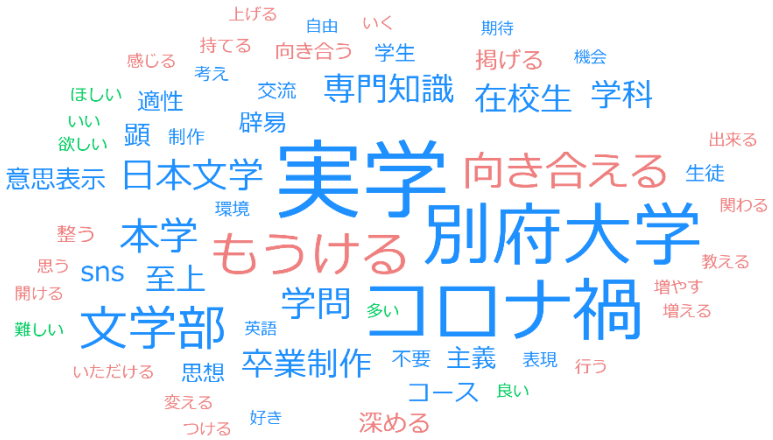

図 23. 国際言語・文化学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

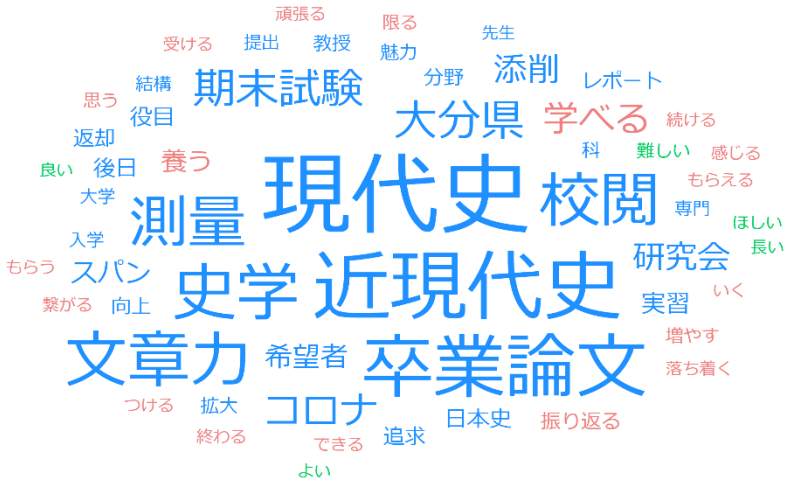

図 24. 史学・文化財学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

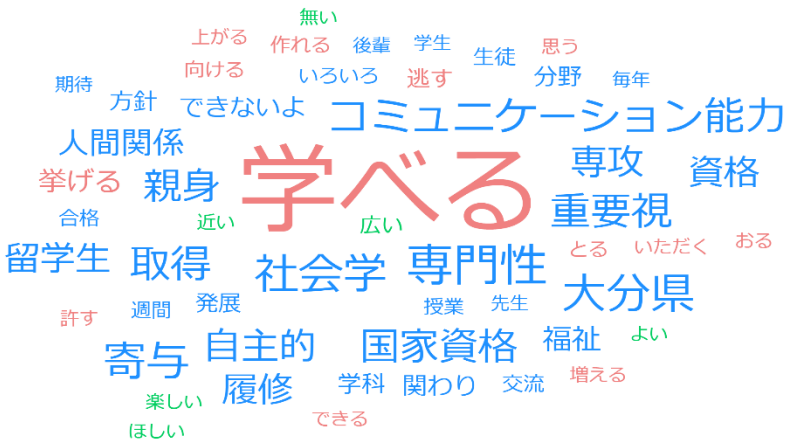

図 25. 人間関係学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

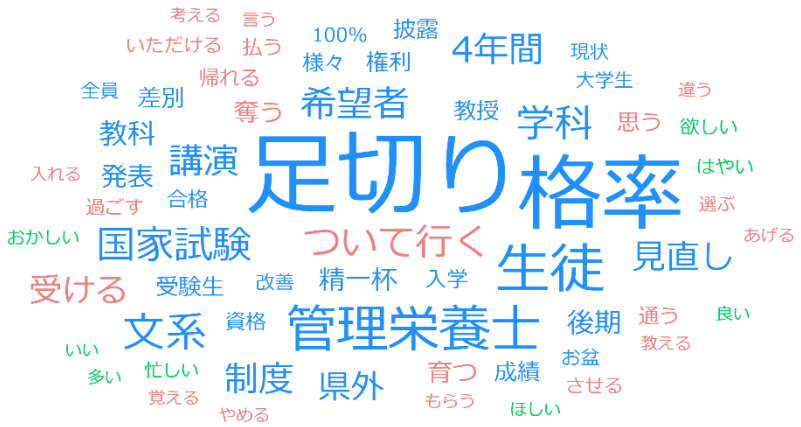

図 26. 食物栄養学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

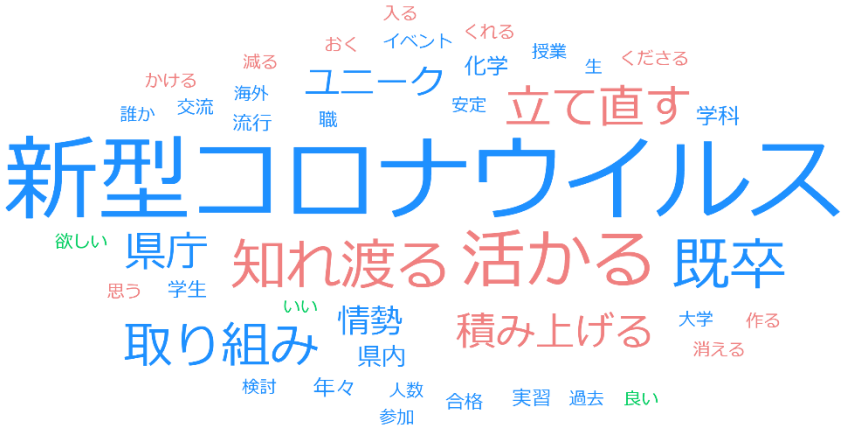

図 27. 発酵食品学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

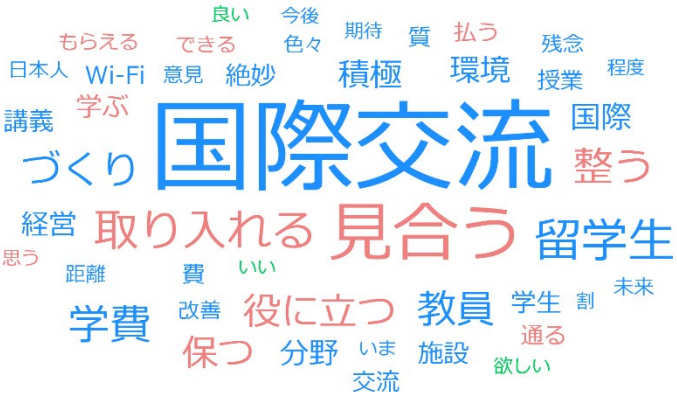

図 28. 国際経営学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

卒業学科へのメッセージでは、卒業する学生からの学科に対する様々な思いが表現されていた。

（9）後輩へのメッセージに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 29 に表示する。
（https://textmining.userlocal.jp/）。

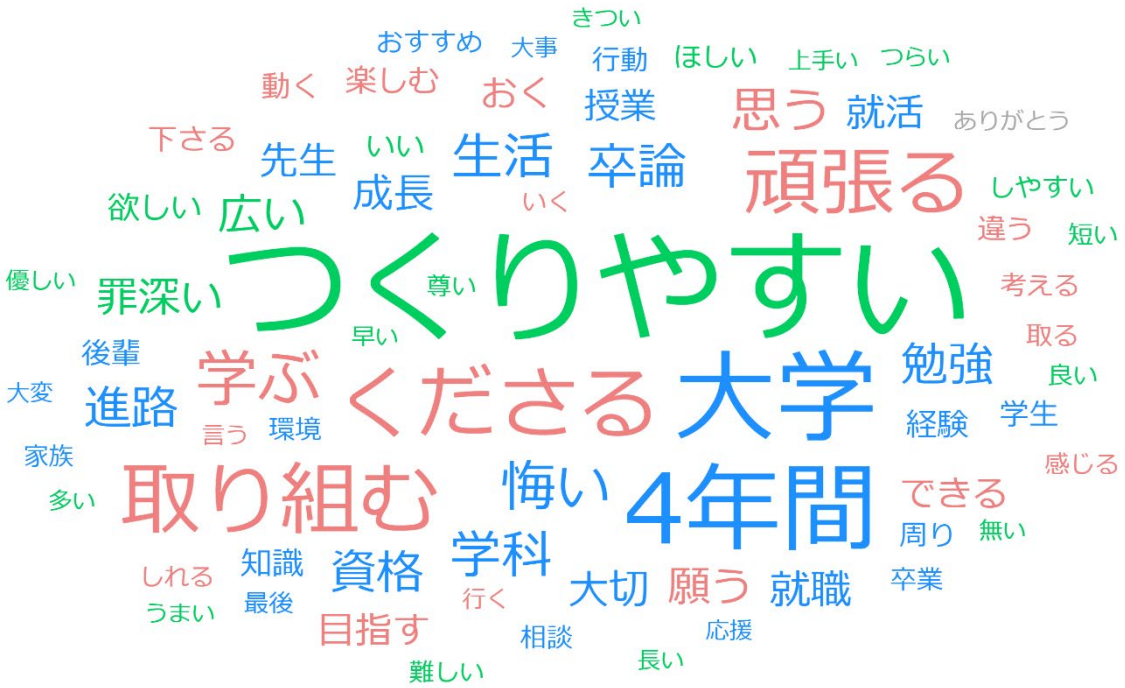

図 29. 卒業学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

後輩へのメッセージではコロナ禍での大学生活や、学科での学びなど多岐にわたるメッセージが得られた。

５．まとめ

別府大学では令和 4 年 3 月に卒業する学生を対象として、ディプロマポリシーの項目の定着確認をアセスメントする目的で、2022 年 1 月 4 日～3 月 20 日を調査期間として、卒業時調査を実施した。

別府大学を卒業することが確定した学生 359 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 90%以上を目標とした。

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、１．教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、２．専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、３．汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5 項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答 3 問を含む 9 項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査は学生自身の主観による達成度を「かなり身についた」。「ある程度、身についた」、「どちらともいえない」、「あまり身につかなかった」、「ほとんど身につかなかった」の 5 段階で回答願い、主観的達成度が「ある程度、身についた」と回答できる段階までを達成できていると考え、集計を行った。

１．教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する 8 項目についての主観的な修学状況は、大学全体では「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養が身につきましたか」に対しては 88%、「(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。」については 72%、「(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。」については 80%、「(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。」については 76%、「(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。」については 77%、「(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。」については 61%、「(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については 75%、「(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については 46%という結果となった。

２．専門力としての「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。」に対しては 87%、「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。」に対しては 83%の回答が得られた。

３．汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）としては、「(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む)。」は 79%、「(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む)。」は 73%、「(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。」については 70%、「(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。」については 77%、「(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、ＰＣスキルなどを含む)」については 66%の回答となることが明らかになった。

教養では、思考力の基礎的素養が身についていると認識している学生の比率は概して高いが、そのほかは６学科でばらつきが出ている。例をあげれば、現代社会の理解などは低めだが科学技術の理解は高い値を示している学科もある。教養の意味づけからすれば、非専門に近い分野での理解度をあげることが課題となろう。英語の基本的なリテラシーは概して低めであるが、とくに４学科の数値が低

い。本学の弱点が浮き彫りとなった。

専門力については、教養に比して高い数値を出している。知識、技術、社会的意義など、学生の自覚が高く、この部分のディプロマポリシーはほぼ達成していると評価できよう。

汎用力は、(1)判断力・企画力では４学科が 80%を切り、(2)協調性と(3)自分の考えの表現力では２学科が 70%を切るなど、実社会に出てからの弱点になりうる項目の改善が課題である。(5)国際関心は概して低く、英語力の低さとも連動している。

その他の(5)の進路の満足度では、とくに低い学科もあり、専門を生かせる職を期待したが一般就職である現状に、不本意な就職と受け止めている状況が窺われる。一方で非常に満足度が高い学科もある。(6)もこれに連動して、専門の勉強が就職につながらないと認識している学科学生と、専門が就職に直結していると認識している学科学生にそれぞれ対応している。前者では、社会全体の状況に関わることもあるので、この課題の根本的解決はむつかしいと思われるが、改善に取り組む必要があろう。

自由記述回答は、今後の改善に参考になることが含まれているので、各学科は検討されたい。

以上

資料１．別府大学卒業時調査の様式

別府大学　卒業時調査

　この調査は別府大学での学びの成果について、本学が定めた学位授与の方針（Diploma Policy：DP）の達成度について、大学を卒業される予定の学生の皆さんへ伺い、より質の高い教育を実践するための改善に用いるものです。
調査の回答には、ご自分で振り返って入学時や入学前のあなたのスコアを基礎として、考えてください。
回答は５件法で、かなり身についた（１）、ある程度身についた（２）、どちらともいえない（３）、あまり身につかなかった（４）、ほとんど身につかなかった（５）を基本として設問に応じて選択肢は、かなり身についた、かなり思う、かなりできる、など適宜使い分けてください。

学籍番号……　氏名……

所属の学科に☑を入れてください。

☐文学部国際言語・文化学科　☐文学部史学・文化財学科　☐文学部人間関係学科

☐食物栄養科学部食物栄養学科　☐食物栄養科学部発酵食品学科

☐国際経営学部国際経営学科

	1かなり身についた	2ある程度身についた	3どちらともいえない	4あまり身につかなかった	5ほとんど身につかなかった
１．教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）					
（回答例）→	○	●	○	○	○
(1) 思考力や表現力などの基礎的素養を身につきましたか。	○	○	○	○	○
(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。	○	○	○	○	○
(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。	○	○	○	○	○
(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。	○	○	○	○	○
(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。	○	○	○	○	○

次へ

	1かなり身についた	2ある程度身についた	3どちらともいえない	4あまり身につかなかった	5ほとんど身につかなかった
２．専門力（専門に関する基本的な知識、技能）					
(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。	○	○	○	○	○

	1かなり身についた	2ある程度身についた	3どちらともいえない	4あまり身につかなかった	5ほとんど身につかなかった
３．汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）					
(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。	○	○	○	○	○
(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む）。	○	○	○	○	○
(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、ＰＣスキルなどを含む）。	○	○	○	○	○

次へ

４．その他

(1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい（複数選択可）。

□1. 大学の勉強　□2. クラブ・サークル・研究会活動　□3. 資格の取得　□4. 留学
□5. アルバイト　□6. ボランティア活動　□7. インターンシップ　□8. スポーツ
□9. 留学生との交流　□10. 友人づくり　□11. 学園祭
□12. その他（　　）記入ください。

(2) 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備は十分なものでしたか。

□１．十分に満足がいくものであった
□２．満足できるものであった
□３．どちらともいえない、
□４．やや不満足であった
□５．改善を希望する内容であった

(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見があれば記入してください。（自由記述）

(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください（自由記述）

(5) 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

□１．希望通り　□２．ある程度希望通り　□３．どちらともいえない
□４．あまり希望通りではない　□５．全く希望通りではない

(6) 大学で学んだことがあなたの進路において役立つと感じていますか。

□１．かなり役立つ　□２．ある程度役立つ　□３．どちらともいえない
□４．あまり役に立たない　□５．全く役に立たない

(7) 大学に期待すること（自由記述）

(8) 卒業する学科に期待すること（自由記述）

(9) 後輩へのメッセージ（自由記述）

卒業後の連絡先に関するアンケート
以降は、卒業後の連絡先に関するアンケートです。アンケートにより収集する連絡先情報は、次の利用目的に従い適切に利用します。法令等に定めがある場合を除き、連絡先情報をこの利用目的の範囲を超えて第三者に提供することはありません。

・卒業生アンケートの実施のため
・卒業生の進路の把握のため
・大学・短大から卒業生への連絡のため

携帯電話番号（ハイフン(-)を入れて半角で記入してください）

_____

個人のメールアドレス（学籍番号@s.beppu-u.ac.jp 以外のメールアドレス）

_____

卒業後の住所（決まっていれば回答してください）

_____

保護者の住所

_____

保護者の電話番号（ハイフン(-)を入れて半角で記入してください）

_____

以降の質問は留学生の方が対象です。留学生の方のみ回答してください。

母国　〇中国
　　〇韓国
　　〇スリランカ
　　〇台湾
　　〇ベトナム
　　〇マレーシア

母国の携帯電話番号（ハイフン(-)を入れて半角で記入してください）

_____

以降の質問は中国からの留学生の方が対象です。

WeChatID _____

QQ メールのメールアドレス _____

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

資料２.「(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述」回答

・大変でしたが、楽しかったです。困った時は指導教員がアドバイスを下さったので助かりました。
・ゼミの先生に大変親身に相談に乗っていただいた。
・時間はかなりかかったが人に恵まれてなんとか作り上げる事ができた。
・先生の指導の元しっかりかけて良かった。
・対面やメールを通して教授への質問はしやすかったですが、図書館資料などを電子で閲覧可能であれば、突然外出が厳しい状況になったとしても卒論の資料探しが簡単になるのではないかと思いました。
・香りの化学研究室の実験部屋の設備が整っていない。
・すごく良かったです。
・卒業論文について、自分の知らない事を知る事ができた。
・もう少し事前に様式などの説明があれば、二度手間になることはなかったのではと感じた。
・図書館には専門的な書籍が揃っているので論文のテーマにそった内容のものを探しやすかった。しかし、書籍だけでなく研究論文等をもう少しだけ充実させて欲しい。
・ILL の利用などしっかりとした設備で卒業論文に取り組むことができた。
・求める者には応えていて、十分な環境であったと思う。
・口頭試問が怖いです
・国際言語の〇〇教授がとても親身に向き合ってくれた。
・設備や環境はめちゃ良くて捗りました。
・卒業論文の発表を他の人と比べることで、自分の足りないとこや発表して良かったと思えた。
・図書館だったり、ランコモもあるので、環境には文句はないです。強いて言えば、国経の全体が集まるときに、卒業生の優秀な卒論・卒研を見ながら、様式などの確認をする時間があれば、もっと取り掛かるスピードがあがったのかなと、終わってみて思います。
・自分の力では完成させるのが到底無理だったのですが、先生が最後まで丁寧に指導してくださったかは終わることができました。本当に感謝しております。
・ゼミの先生が親身になって卒論などの相談も乗ってくれました。
・コロナの影響もあり思うように進めることが出来なかった。
・自分の為になった
・コロナ禍ということもあり、この先がどういう風になるのか分からない中での研究で満足にアンケート等を取る計画が立てられなかった。もう少し先々の見通しがわかったら助かった。
・質問時などに、教員間をたらい回しにされている感じがあった。(友人の体験含む)
・先生が作品に対する考察の時間をしっかりととってくれたので、自身の考えを深めて形にすることができた。
・国言、特に日本語日本文学コースは研究室や勉強会を積極的に増やしてほしかった。アレルギーが出るくらい摂取したかった。
・食品に関する行政の働きについて学ぶことができました。
・卒論は初めて書くものなため把握してない人がほとんどなため例として先輩の卒論を見せても良いかと考えられる。

・コロナ禍でなかなか思うように進まなかった。
・ゼミの先生が細かく指摘してくれて、本当に助かりました！
・〇ゼミでの環境はとても素晴らしかったと思います。
・できるだけ楽しみながら研究をおこなう。
・コロナ禍でオンラインとなった時期もあったが、自分のペースを保ちつつ、卒論を書き上げることができたので良かった。
・人間関係学科での社会学的な分野の先生が、来年からお一人になられて大変そうなので、対応して下さい。
・〇〇先生で本当によかったと心から思いました。
・提出締め切りギリギリで慌てる人を出さないために作成計画をたてたり、進捗状況がわかると双方がもっと楽になるなと感じました。
・論文を閉じる黒表紙や、他大学図書の貸し出し料金、国立公文書館への印刷料金などの支給やサポートがあると有難いです。
・研究室に机と手を洗える場所が欲しかった。
・私の教授は、マンツーマンでしてくれたので論文がスムーズに進むことができ非常に満足できるものであった。逆にもし、全員でやるとなると今日の論文では先生の口頭だけで終わった、誰かがいつまでたっても進まないなどの問題が出てくると思うので、極力マンツーマンでした方がいいと思います。
・素晴らしいサポートがあったからこそ、卒論を書き上げることができた。
・各ゼミ生と意見を出し合うことで、新しい考えを知ることができ、勉強になった。
・ハンコは無くして欲しい。
・大学の図書館で借りれる期間をもっと長くしてほしい。
・不満な点はなかった。
・先生方が非常に丁寧に教えて頂いたので、よかったです。
・電波状況を今より少し改善していただけるとより良い環境になると思う。
・とても有意義に作成に取り組むことができた。
・アトリエを２４時間解放してほしい。
・図書館での資料があまりなかった。
・卒業論文を作る中でたくさんの資料を収集し、コピー印刷もしてきた。支払方法をもうすこし幅広くしてもらえたらなと感じた。交通系 IC 支払いを図書館でも使えたらなと個人的には感じた。
・論文の研究が実際かなり簡単ではない。論文がどうか自分の論点の証明が大事です。

資料３．在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述

・実習で初めて精神疾患を持った方と関わりを持ったこと。
・自分の意見を自分でしっかり伝えることの大切さ。好きなことを学ぶことの楽しさ。
・自分の夢に向かって勉強できた。
・学校主催のボランティア、アルバイトなどで多くの学生と協力しながら 1 つのことを成し遂げる達成感を得ることが出来た。
・中学・高校まで嫌いでかつ苦手だった漢文が好きになったこと。
・4 年間の授業を通して、専門的な考え方が出来るようになった。人と関わる時に、その人の背景まで考えられるようになり、余裕を持って人と関われるようになった際に成長を感じた。
・次第に自立を覚え、自主的に勉強できるようになりました。
・研究室での発表。
・一年生の頃に行った海外での語学研修を通して、実際の日本と外国との違いを体験することで、自分の視野を広げることが出来ました。
・色々な人がいて、考え方が違う中、関わりをもつことで自分自身の成長に繋がった。
・ラグビーワールドカップのアルバイト。
・人間性が 1 番です。
・自分で考えて主体的に行動する力が身についたこと。
・ボランティアの経験を経て、コミュニケーション能力などが身についたと感じた。
・湯けむり健康教室で、人に伝えることやグループでひとつの事をやり遂げることの難しさを感じながら、忙しい中で充実感や楽しさを感じることができるようになっていたこと。病院実習で、理不尽なことを言われても素直に受け入れて行動に移せたこと。課題をただ作業としてこなすだけでなく、内容のあるものにすることで身に付いたこと。
・教職と司書、司書教諭、学芸員の資格の取得勉強を一生懸命にできた。3 年時はとくに月曜から金曜まで全コマ埋まって非常に忙しく過ごしていたが、充実していたし、自分に少し自信が持てるようになった。学期を無事に過ごせたら全て取得できるので頑張りたいと思う。
・教育実習に行って生徒の実態や教育現場を知ることでその後の模擬授業やどのような授業を作るか、工夫を幅が広がったと感じたこと。
・リモートに切り替わった後に学ぶ機会を逃がすことなく学びに活かすことができた。
・卒業演習の研究室での発表。発表するという場が多かったので、どう伝えるべきか、どう答えるべきか、勉強できた。・1 年の時に学園祭でソロでダンスコンテストに出場したこと。自分自身がしたいこと、好きなことを全力でぶつけられた。好きなことをしてる自分が評価されてる事がすごく嬉しかったし、成し遂げれたことに成長を感じた。
・人間的に成長できた。高卒の時の自分と比べたとき大人になれた。有意義な時間だった。
・ボランティア活動で様々な人と関わり、コミュニケーション能力や相手の立場に立って考える力が身についた。
・考古学実習や保存科学実習を通して経験を積むことができた。年齢が大きく離れている人達とコミュニケーションを取り、友人になることができた。
・長いレポートを初めて書き終えたことです。

・英語コースでいろんな経験ができたこと。
・人間的に成長した。
・国際言語の〇〇教授に支えられた 4 年間だった。とても人として成長できた。
・交友関係によるコミュニケーション能力が身についた。また、卒業論文において社会の厳しさを学んだ。
・資格の取得。
・大学生として行動できる範囲、決定できる範囲が増えたことで、自分の行動に常に責任を持つことについて成長できたと思います。
・考える力が身についたと思う。
・部活動をしていて、友人関係など社会に出るために必要なことを学ぶことができた。
・サークルで、人間関係を良好なものにすることができた。また、TOEIC などの資格用の講義は、自分のためにもなるし、受けてよかった。
・サークル活動、資格取得、卒業論文。
・面白い創作のアイデアを生み出せるようになったこと。
・サークルでの失敗は少なくとも自分を省みる事が出来た。
・剣道を通して、成長出来た。メンバーには入らなかったけど、最後まで諦めずにやり切ることが出来た。次のステージでも頑張りたい。
・部活動と就職活動を経て、打たれ強さが身についたと思います。
・勉強だけでなく、人間関係のことなども勉強することができた。精神的にも成長できたと思います。
・ワード、パワポを使いこなせるようになった。資料集めが一年生の時と比べて良くなった。
・アルバイトでの売上目標の達成と大学の授業の予習復習と試験勉強の両立を一生懸命頑張って、どちらもいい成績を残せたことから、努力すれば要領の悪い自分でも両立して結果を残せるということを知れたこと。
・アルバイトや実習で人とのコミュニケーション能力を身につけることができたし、できる限り力をだして勉強に励むことができたことです。
・表現力や他者との協調性が成長できた部分です。
・自ら考え、動くこと。英語の勉強において自身の英語力が上がった。話せるようになった。
・アルバイトをするうえで目上の方や働くことの大切さなどを学びました。
・3 年の湯けむりで、リーダーをし、成功させることができたこと。
・傾聴力や文章構成力が身についたことも然ることながら、積極的に発表したり受け答えをしたりする度胸が身についたことが一番の成長と言える。専門分野を深く学んだことによって自分の教養に繋がったのも成長の一つだと思う。
・ボランティア活動において、自ら進んで考え行動できたこと。
・自立ができた
・大学 1 年生の頃を思い返すと、自分の感情コントロールや他者に対する気遣いなど多くの面で成長出来ていると実感する。
・一人暮らしだったため、何事も自分でやらなければならず生活面や人との交流面で成長できたと思います。
・社会人としての知識や常識。

・人との関わりが上手くなった。
・卒業論文を書き上げたとき。
・文学者のエピソードトークとやりとりを友人とできたとき楽しかった。
・実践的な授業内容や、普段のアルバイトを通してコミュニケーション能力(表現力)をしっかりと身につけることが出来た。
・たくさん成長できた
・挑戦する機会を与えられることが多く、現状に満足せず新しいものを取り入れることができた。
・自分の力で未来を切り拓く力を養った。
・マナーやコミュニケーション。
・相手に分かりやすく説明すること。そこを考えながらゆっくり話すこと幼稚園、災害食教室ボランティアなどで。
・人に優しく接せれる様になったこと。
・卒論を無事書き終えたこと。
・社会について知ることが出来た。
・アルバイトや大学で人との関わり方や社会のマナーやルールについては成長できたと思う。
・勉強と部活の両立。
・根気強く勉強する力、継続する力、今までは机に長い時間座ることも出来なかったのに資格取得に向けて今では 1 日 5 時間くらい勉強する事ができるようになり、しんけんに物事に取り組むことができる力をつけることが出来ました。
・相手のことを理解する力。
・専門的知識を学べた。
・一人暮らしをしたことで、自分自身のことを知れたと思う。
・言葉遣いや考え方はもちろん、アルバイトを通じて場面や相手による対応の仕方について成長する事ができた。
・少しはコミュニケーション能力が付いたと思います。
・大学入学当初は〈必要以上に人と関わりたくない〉と思っていました。単位さえとれればそれでいいと思っていました。しかし、教職課程等を履修することで、この姿勢を変えることができました。「自分にも何かできることがあるんじゃないか」そういった気持ちで、24 時間テレビといったボランティアに参加したり、コロナ禍になってからは、それまでアルバイトをしていた学習塾を辞めて、経済的に困窮している家庭を対象にした家庭教師を始めたり、オンラインで無料塾をしたり、コロナ禍で留学生が孤立しないように国際サークルの取り組みをしたりするなど、ほんのちょっとだけ誰かのために頑張った 4 年間にすることができました。そういった経験を重ねることで、行動力を身に付けられました。
・大学生活を通して、様々な価値観を持つ人と関わることができたので、自分の人生についてより深く考えることができた。また、専門分野について学べたことで、スキルを伸ばすことができた。
・自分と向き合えた。
・高校生までの自分は物事における経験が少なく、視野が狭くなりがちであったが、大学生になって様々な方面から物事を見る事ができるようになった。
・コミュニケーション能力があがった。

・ある程度のコミュニケーション能力や言葉遣いが身についた。
・目指したいと思うものを明確に考えることができたこと。
・自己コントロールができるようになった。他人に干渉しすぎないようになった。
・課題探求力と思考力は入学以前よりはかなり成長できたと思う。さらに歴史に関する専門性も深まったと思う。
・アルバイト。
・個人それぞれに、それ俺の考え方があることを実感として知ることができた。
・自分で取捨選択をし、自分で判断することができるようになったと思う。
・出身地を越えて、いろんな考えや知識がある人と関わることができ、多様性や多角的な考え方を身につけることができました。
・コミュニケーションの取り方、考え方。
・1 年間、同じ分野を続けて学んだことで、自分にとって継続する力がつきました。
・苦手を向上心にかえること
・頑張った。
・人間関係において、今までの自分の対処力や思考では整理できない課題の発生が自分の成長に繋がったと思う。友人に相談したり、身近な大人に相談したり、自分で調べたりして創意工夫をしてのり越えることで、新たな対処法や思考を身につけることになったからだ。他のことであっても、今までの自分では解決しえないことにぶつかった時に成長したように感じる。
・映像関係の技術の基礎を身につけることが出来た。
・ステップアップの為に校外でも映像や芸術に関して学ぶ機会を頂けたこと。
・様々なボランティア活動
・私は、高校生まで積極的に発言することができなかったのですが、大学生になってクラスの人数も少数になり、大学の教授も発言しやすい雰囲気を作ってくれたのでほとんどの授業で積極的に物事を発言することができ、成長をできたと思いました。また、私は、専門は英語で入学時、発音が滑らかではなかったのですが、2、3 年生と上がった時にネイティブの発音に近づくことができました。そして、英会話も在学中に少しできるようになり、成長を感じました。
・大人になれたこと。
・社会福祉士実習で体験したことです。
・自ら進んで、学外活動に参加するなど積極的に行動できるようになった。
・分からないことがあれば即座に本やネットを探索し、考える技能が身についた。図書館を利用する際、利用者目線と管理者目線で物事を見るようになったこと。他の学生に話しかけられた時、以前より咄嗟に言葉が出るようになった。
・各講義の中でレポート課題が多くあり、文章力や表現力が身につきました。
・入学したばかりの時は、人見知りで他人に全く話しかけることが出来なかったが、今では普通にコミュニケーションを取れるようになったこと。
・高校生の時に比べると、視野が広くなり、世界で起きている問題に興味を持つと同時に、それらが地続きであることが少なくなく、私たちにできることもあるのだということに気がつくことができた。
・自分で考えて 1 人で動けるようになった。

・自分を客観的に見れるようになった。言葉にする前に言っていいことなのか判断できるようになった。
・大学に進学して初めて一人暮らしをしたので、お金を計画的に使えたかなと思う。
・自分自身で考えて行動して、決断するまでの一連の流れを出来るようになれた。
・サークル活動での交流によってある程度の人間関係を構築できるようになったと実感できたこと。
・班活動で自分の考えを言えるようになった。
・文章力がそこそこあることに気づけたこと。
・自発的に物事に取り組む精神を学べた。
・履修登録や講義の出席など自分自身の問題なので自分で決めるという部分で成長できたと思う。
・無理なものはキッパリ諦められるようになった。教員免許を取ろうと思ったが単位が足りずにスパッとやめた。
・自分が日本語能力について自信がありました。
・心理学のことをよく知ることが出来たこと。
・数年の大学生活の中で、多くの勉強と生活の方面の経験を収穫しました。自分が成長した気がする。
・色んな先生にご迷惑をおかけしたが、特にゼミの先生には知識がない自分に色々とやらせていただけたので少しは成長したと思う。プレッシャーが無かったといったら嘘になるが、いい経験をさせて頂いた。
・留学生として、日本人とゆっくりとコミュニケーションを取り、一緒に勉強することはとても有意義なことです。
・外国人の友人が増え、国際交流を盛んに行うことで、他国に対する知識や理解が進んだ。
・時間を惜しむ。
・日本語の会話力と文章力は入学する前より進歩しました。
・友達と一緒に話し合い、さまざまな理解や意見を得られる授業もある。
・いろいろな経営方面のことが知っているになった。

資料４．大学に期待することに関する自由記述

・留学生との交流。
・公務員の授業を作って欲しい。
・ないですね。サークルもろくにさせて貰えず記念式典など特に無駄なものは強制にさせるとことか、全く期待してないです。
・1 年次履修登録の仕方が分かり辛かった為もっと説明が欲しかった。入学してからのオリエンテーションなど、仲間作りの場がもう少し手厚くあると良い。
・学業や大学に関する情報について先生と生徒の情報の格差をなくしてほしい。
・たくさんの人とコミュニケーションの場を作れること。
・もっと色んな学部の人たちと交流する機会があればいいと感じた。
・事務連絡が遅いことについて、対応をもっと早くしてほしい。
・今後コロナがどうなるかは不明であるが利用できる設備を HP などにはり出すなど分かりやすいものにしてほしい。
・Wi-Fi を強くしてください。
・敷地を広くする。
・3 号館の学食もっと綺麗にしてほしい。
・少子高齢化による学生の人数が減らないよう研究を取り組んでいくこと。
・自分の進路に向かって頑張れる。
・奨学金などの重要な連絡がギリギリでメールで送られてきて、予定をズラさないといけないことが毎年あったので、そういった連絡はもう少し早めに告知していただけると助かります。メールとか学内の掲示板以外にも、在学生ポータルとかをもっと活用できれば、さらに良くなるのかなと思いました。
・メールが遅い。
・20 時以降も開いていること。
・学生の自由。
・人と人との関わり、自由に学びながら時には遊び事就職以外でのチャンスの場。
・コロナ禍で 2 年ほどは空白期のような感じでしたが楽しい四年間でした。学生を第一に今後もよろしくお願いします。
・将来に役立つ知識を習得できるような講義やコミュニケーション能力を養えるようなグループワークを沢山実施してほしい。
・テストの教科発表など色々ともう少しはやく予定を教えていただければより良くなると思いました。
・もっとリモート環境に柔軟であって欲しい。
・コロナへの臨機応変な対応。
・温泉大学など様々な魅力的な取り組みをしているので今後も継続して盛り上げてほしいです。
・大学に期待はしていない。ただ、奨学金を借りていた身として思うのはもっと早く奨学金の話を掲示板や知らせをして欲しい。特に返金の話では時間がなくて国家試験の勉強もあるのに余裕を持って知らせて欲しい。

・もう残り数週間なので何も無いです。
・これからも生徒に寄り添った活動を期待します。
・図書館を大きくして欲しい。足りないし広いだけの図書館じゃなくて抱え込んでる蔵書を排架できるだけの場所を提供してあげてほしい。本も利用者も不便極まりない。
・可能なら、大学指定の駐車場スペースの確保をもう少しどうにかして欲しい。
・長く続いて欲しい。
・コース内でさえ縦・横の関係が殆ど無かったので何か交流できる機会があるといいなと思いました。
・今までのように自主性を大切にしてください。
・視野の広がり。
・歴史が社会に役立つのかはこれから。
・国試の問題を１年生のときからもっと解くのも良いと思いました。
・先生の教育の質の改善。大学自体の支援制度について。本当に学びたい人にとっては良い環境とは言い切れないため。
・これからも学生の事を考えた方針を期待している。
・どの学部にでも大学の授業だけではなくなにか面白いことをやろうとする意欲的な方たちが毎年数人は居ました。彼ら彼女らをしっかりサポートしてあげてください。仕方がなかったとも思いますがコロナ対応においては可能性を削ぐような形になってしまったのが残念でした。
・地域に根差したアットホームな大学として、コロナ禍ではありますが、在学生と大学、卒業生、地域を繋ぎ続ける居場所をつくることを期待します。
・考古学研究の発展。
・学習意欲がある生徒への支援。コロナによる困窮学生への支援。
・コロナ化の対応をもっと学生や、学生の家庭事情に寄り添った対応をしてほしい。
・大学にお金を払っているにも関わらず、コロナでオンライン授業になったことで、追加でコピー代などが自費になったのは納得がいきませんでした。施設管理費などが浮いたのなら、お金を返還してほしかったです。
・さらなる教育の質的向上、グラウンドの範囲が広くなればいいと思います。
・パンデミック下においても柔軟に対応できる活動環境(先年は研究室活動やサークル活動に大きな影響が出たため)。
・自分が知らないことを学びやすい場所であって欲しいです。
・コロナ禍でも学生が有意義に過ごせる環境づくりがあるといいです。
・体験入学時と実際に入学してからのギャップが少なくなってほしい、なんか違うなと思ってしまうことがあった。
・大学生としての思考力や教養が身につくような講義であること。
・教室、食堂、トイレなど全ての施設はきれいなのでこの状態を保って欲しいと思います。あとは、商業施設が今より増えれば、学生さんももっと学生生活を有意義に過ごせるのかなと思います。いきなり増やすのは無理なので、徐々でいいので頑張ってください。期待しています。
・求人をもっと増やしてほしい。
・学生の意思、希望、悩み、問題に寄り添えるようにしてほしい。

・昨今の情勢を快方に向かわせるような研究を盛んに行って欲しい。温泉資源の有効活用について、もっと様々な分野に広げて考えて欲しい。孤立する学生が少しでも減って欲しい。
・今まで通り学生を第一に考えて、設備などに投資をすること。
・コピー代を取らないで欲しい。何をコピーするのか先生に伝えて勉強するために必要なものは無料にして欲しい。なぜ成績表などを出すのに 500 円かかるのか分からない。学費をとって、どこまでお金をとるのか意味不明。本当に学生のことを思ってるのでしょうか。学食の衛生管理が気になる。箸などたまに汚いし、もう少し気にかけて欲しい。何周年の何かがあると何かと学生を集めて会を開いて欲しくない。学生にとってはほとんどどうでもいい事で、するなら興味がある学生だけとかにして欲しい。時間の無駄であると思う。商品が倒れていたので後ろの方のものを直しただけなのに、後ろやなくて前から取ってくれないかなと、かなり強い口調で言われた。それだけでなく、学生に対する態度が悪いのをいくつかみているので大人ならきちんとした態度をとって欲しい。学生も客なので失礼だと思う。食物棟のワイハイが悪すぎる。コロナになってリモートだったり、食物は携帯で調べることもあるのでとても困る。
・勉強したいと思って印刷しようとしても印刷させてくれないことがあったので、印刷させてほしかった。
・大学事務局の一部の職員が訪れた人に対して明らかに「話しかけるな」といった態度、高圧的な態度をとっていたことが気になりました。その点を改善していただければ幸いです。
・書道学科を復活させたほうがいいと思う。
・これからも生徒の一人一人を導いていってほしい。
・自由な大学生活。
・個性を自由に伸ばす。
・様々な教養。
・自分の趣味に合う友達を作ること。
・就活は二回目だったが、証明写真のデータ化はしてもいいと感じた。今後、履歴書の提出がネットで行われることがより増えると思うので、学校で証明写真を撮るようにしてデータを DVD などに入れて渡してくれると良いなと感じた。
・ちょうどいま
・英語を通した外国人との交流だけでなく、韓国語、中国語などを通した交流の場を設けてほしい。学生が不安に思うような言動や、間違った情報を提供しないように心がけてほしい(教務課)。
・他の国の学生と友達になって、いろいろな国の人の考えを聞くのがとても楽しみです。
・学校の雰囲気かな。

資料５．卒業する学科に期待すること（自由記述）

国際言語・文化学科

・学生の自由
・きっかけ
・日本語・日本文学は身近であるがゆえに難しく、辟易とされる対象であるように感じられる。そのマイナスなイメージをプラスに変えれるよう充実した環境、講義が整うことを期待する。卒業生のみならず、在校生にも意見を聞いて欲しい。
・これからも生徒に作品との向き合いかたや自身の考えを深める方法を教えていって欲しいです。
・昨今「文学部は不要」などの文学部不要主義や、実学的な学問を至上とする実学主義のような風潮が見られる。多様な考えが SNS などで顕となった様々な思想も増え、今や人一人の思想や表現は不自由でしかない。しかし、「真理は我らを自由にする」という本学の精神は、学問についても、世の中についても、必要であり掲げてほしい。
・もっと協力して制作する映像企画などがあるといいなと思います。
・他学科のように学生による活発な研究活動や取り組み等が行われることを期待します。
・留学生が多い学科だと思うので、もっと交流できる機会を増やすと良いと感じた。
・もし、コロナ禍が開けたら、留学など海外の学生と今以上に関われる環境づくりがあるといいと思います。
・卒業制作が個人だけでなくグループでも出来るように芸術表現コースと他コースとの繋がりをもっと持てるようになれば良いと思う。
・英語コースで授業だけでなく、放課後も勉強したいという人もいると思います。私もそうでした。なので、そういった機会をもうけ別府大学の偏差値を上げてほしいです。
・学生間の交流がもっと盛んになって欲しい。何か合同プロジェクトを行う際は、参加の意思表示は直接の声掛けだけでなく、メールなどでも行ってほしい。
・英語のクラス割を少し改善していただけるとなお良いと思う。
・これからも生徒の一人一人が、制作にしっかりと向き合えるような環境を提供していってほしい。
・国語が好きなひとは入るべき学科
・適性のあるコース選び。
・自分の好きな専門知識を身につける。

史学・文化財学科

・日本史の現代史、近現代史の先生を増やしてほしい。
・期末試験のレポートなどを後日落ち着いたタイミングで結構ですので、添削をして返却してもらえると文章力の向上に繋がると思います。（教授の負担になると思うので後日で大丈夫です）提出したら終わりだったので、改善点などレポートの振り返りがない為文章力を養う事ができず、卒業論文の校閲等で苦労しました。
・専門的な知識を学べてよかった。よりよい環境の追求に頑張ってほしい。

・史学科の先生たちはいい方ばかりでした。お体に気をつけて今後の活躍を期待します。
・ある特定の時代や分野に限らず、授業が選択できるというのはとても魅力だと思うので続けてもらいたいと思います。
・大分県のみならず全国的に大学の研究が拡大していった、良いと思う。
・実習が当大学の魅力の一つであるが、私が入学してからはコロナで中々難しいところもあったと思う。
・もう少し長いスパンの実習（測量機械の使い方や操作方法など）を希望者が受けれる機会があればと感じた（研究会の役目なのかとも思うが、どうしても活動がコロナで難しかった）。

人間関係学科

・私も楽しく学べたので、後輩達にも同じように楽しく自主的に学べるようにこれからもしてほしいです！
・留学生との交流。
・資格取得に向けた勉強ができるのでよかったと思う。
・先生と生徒の距離が近くて、相談ができる環境を作れることを期待している。
・大分県の福祉の発展に寄与する学生。
・国家資格の合格率が上がること。
・人間関係学科として、人間関係について広く学べる、失敗をしても許される場であること。
・もう残り数週間なので何も無いです。残念だった点を挙げるならば、「この授業をとらないと資格取得できないよ」や「来年はこの授業をとろう」など、毎年親身になって履修の確認をしていただきたかったです。私の場合、1つ履修しておらず、資格取得を逃しました。
・これからはコミュニケーション能力も必要とされるため、いろいろな人との関わりを重要視した方針を期待している。
・社会学的な分野専攻の先生が増える。
・専門性があること。

食物栄養学科

・大学の中だけでなく、他の企業や地域との様々な企画に挑戦してほしい。
・現状の見直し。
・テストの教科発表など色々ともう少しはやく予定を教えていただければより良くなると思いました。
・学科に期待することはない。むしろがっかりしたことが多かった。特にこの学科は文系の人も入れるとなっているが文系の人はついて行くのが精一杯だと思う。だからこそ足切り制度でたくさんの人が国家試験を受けられないのだと思う。たくさんのお金を払って入っているのだから足切り制度は後期だけでいいのではないかと正直思う。あと一部の教授が生徒によって差別をしていると思う。何か講演があった時にいつも感想を言う人は成績のいい人。授業では発表していない人に発表してもらうと言われていたのに何も覚えてない。選ばれる生徒も可哀想。他にも、生徒みんなの前である

生徒の就職状況を披露するのはおかしいと思う。その生徒の気持ちになっているんですか。それこそ社会人としてどうなのかなと思います。これから改善されていくのかは知りませんが、4 年間通って思ったことです。
・忙しすぎたのでもう少し大学生生活を過ごしたかったです。
・入学者全員が受験生になるようにして欲しい。
・資格を希望者全員に受けさせてあげてください。合格率がという理由で受けれる権利を奪うのは違うと思います。
・多くの管理栄養士が育つこと
・国試合格率 100%
・年末やお盆などは県外の学生のことを考えて欲しい。先生の都合で休みなのに帰れなかったりするのはやめて欲しい。

発酵食品学科

・年々学生の人数が減っている気がするので、学生がたくさん入ってくれるといいなぁと思います。
・実習を活かせる場を作って欲しい。
・県庁化学職に誰か合格してください！
・新型コロナウイルスの流行によって既卒生が積み上げてきた授業外での取り組み(海外の大学との交流や県内のイベント参加など)が消えかけているので情勢が安定したらどこから立て直すか過去の取り組みを検討しておいた方が良いと思います。
・ユニークな学科がもっと知れ渡るといいなと思います。

国際経営学科

・色々な分野を学ぶことができた。
・国際経営らしい講義がないのが、残念でした。もっと国際交流ができる環境づくりを今後期待します。
・もっと積極的に日本人と留学生が交流できる環境になってもらえればいいのかなと思います。
・授業の質の改善。学費に見合った授業をして欲しい。学生の意見をもっと取り入れた方が良い。施設費を払っている割には Wi-Fi の環境が整っていないのはとても残念。
・今まで通り、学生と教員の絶妙な距離感を保ってて欲しい。
・ちょうどいま
・未来である程度に役に立つと思う。

資料６．後輩へのメッセージ（自由記述）

・卒業論文は自分の好きなことを突き詰めるのにとてもいいです。気負わずに友人などとかけることを願っています。
・自分の夢に向かって頑張ってください
・頑張ってください！
・専門分野以外のことも学んでみてください。
・卒論や就活などでストレスが溜まるでしょうが、自分なりの解消法を見つけて体調を崩さずに頑張ってください。
・楽しんでください(ˆ　. .ˆ)
・単位を落とさないように頑張ってください。
・さまざまな人と関わって相手の価値観を尊重できる人に成長してください。
・課題や勉強、授業数が多くて大変ですが、その分他の学部の人達にはない武器になるし何も無い 4 年間には絶対にならないので一つ一つ楽しみをみつけて頑張ってください。
・大学は中、高校と違い自分から行動しないと学びを得ることはできません。自分が将来何をしたいか、何になりたいか目的をもって自分から行動を起こしてください。そうすれば必ず大学の先生方をはじめ先輩、周りの人たちは答えてくれます。大学 4 年間を有意義に過ごせるかは自分次第です。後輩たちの大学生活がより実りのあるものになることを願ってます。
・リモートに切り替わっているが学べる機会などをとり逃さず日々の授業に臨んでほしい。
・自分のしたいこと・やりたいことに素直になってください。親がこういうから、周りがこういうから、先生がこういうから、関係ないです。そして自分を大切にしてください、夢も好きなことも体調面や精神面においても。大変なこととかきついこと沢山あると思いますでも頑張りすぎるのは違うと思います。友達や家族などを大切にするのも大事だと思いますが、何より自分自身にもちゃんとご褒美をあげてくださいね。応援しています。
・大学とは自分で学ぶ場所です。何もしないでもいいですし、常に何かをしていても良いです。自分から行動し、自分から友達を作り、自分から先生の研究室に訪ねてみましょう。先生方は自分から求める生徒を優しく受け入れてくれます。コロナで今までと環境が変わっていますので「今まではこうだったから今後もこうすると良いハズだ」という考えが通用しなくなってきています。柔軟に対応できるようになれるといいですね。頑張って下さい。
・単位きちんと取ってください
・入学時から卒論のテーマについて考えておいたらいいと思います。私はテーマを考える段階ですごく困りました。
・おはよ
・就活を早めにする。
・頑張れ！
・大学の授業に加え、資格の取得を目指すと良いと思います。
・自分の進路に向かって頑張ってください。
・たくさん人に迷惑をかけない程度で、はしゃいだらといいと思います。4 年間はあっという間に過ぎます。

・つらい時は、周りの人に相談したり、エッセイ漫画を読んだりすると気が楽になります。あらいぴろよさんの漫画がおすすめです。
・時間は四年もある、その四年間は棒に振る事はあまりにも罪深いと思う、今はコロナの時代だけど自分のように引きこもりになってはいけない文章で言ったところで伝わらないと思うが、自分のしたい事を最後まで貫いてこの四年の内で、悔いのないようにやり切ってほしいと自分は切に願う。
・大学生活は思っているより短いので後悔のないように思う存分勉強して、勉強した分遊んだ方がいいと思います！
・知識と経験は財産になるのでたくさん勉強して大学で出会った人と過ごす時間を大切にしてください。
・勉強ははやめに取り組んで頑張って欲しいです。
・1 年次の頃から、自分が目指す進路について考え、資格取得などにも力を入れることをオススメします。
・アルバイトは絶対にした方がよいです。自分の時間をつくりやすいので資格試験、ボランティアなど色々な経験をしてください。
・頑張れ。
・自分の進路どうりの道を進めるよう、勉学に励んで欲しい。
・頑張れ。
・コロナ禍で、自身が望んだ大学生活とは掛け離れたものになっているかもしれませんが、それでも学べることは沢山あると思います。環境のせいにする前に、自分が出来ることを考えられる限り全力でやって下さい。最後に悔いを残しませんように。
・せっかく大学に通わせてもらえてるので積極的に勉強してもらえたらいいなと思います。
・この学科に行くのもいいかもしれないけど福岡の大学でも栄養の勉強はできると思うのでそちらをおすすめします。
・頑張ってください。
・頑張ってください。
・ポジティブに行こう。
・色々と不安になることがあると思いますが、サポート体制はしっかりしているのでそれを活用していけば大丈夫です。
・今学んでいる学問が楽しくないとか面白くないなら大学はやめたほうがいい。俺はそう思う。
・共に過ごす友達を間違えないことが 1 番、自分の生活に影響します。
・頑張ってください。
・分からないことや挑戦したいこと、知りたいことがあれば先生に相談してみると実現に一歩近づけると思います。
・誰もがやればできるので努力したもの勝ちです。
・2 年生の時、目指す所が違ったと感じたら他の学科や大学に行くことをおすすめします。
・パソコンは使えるようにした方がいい。
・がんばれ
・夢に向かって頑張ってください。
・勉強と遊びバイトなど全てにおいて全力で取り組むことで最後にいい思い出が残ると思います！

・このような時期で辛いことも多くあると思います。そんな時は友人や家族，大学の学生相談などを頼ってください。お互い頑張りましょう。
・本当に信頼できる先生や大学関係の人を早く見つけることが大切です。相手が動くのを待っているだけではなく、自分から動かないといけないと思います。有意義な時間を過ごせるように頑張ってください。
・頑張って欲しい。
・とても貴重な経験をした 4 年間であったため、自分のしたいこと、勉強してみたいことを探して大学生活を楽しんでほしい。
・ぜひ、なにかしら資格とって頑張ってください。
・やりたいことをやって悔いのない大学生活を送ってください。発酵食品学科の先生方は時間が空いていれば思った以上に力を貸してくれるので上手いこと調整しながら話を持ちかけて見てください。
・卒業を間近に控えた今、誰に「ありがとう」を伝えたいか考えてみました。家族や、先生方、友だち、先輩、後輩、お世話になった方々――。何かを受け取る度に「ありがとう」と言い、感謝する度に成長することができました。今、思い出せるたくさんの「ありがとう」が成長の証だと思います。みなさんも、周りと自分を大切に。別府大学に進学して良かったと感じた 4 年間でした。
・大学生活を通して、限られた人や物事だけでなく、広い視野を持ってたくさんのことを経験してほしいです。
・fight
・大学はこれまでの学生生活と違い、自分の力でアクションを起こしていかないといけない場所です。だからこそ、何でもやってみる心意気が一番大事だと思います。何かを始める勇気がいまいち持てないという人もまず、一歩踏み出してみて前に進んでいきましょう！そうしたら、自分の想像以上の広い世界が見えます！その広い世界は良くも悪くも自分の人生において尊いものとなるでしょう！！
・大学生活楽しんでください。
・頑張ってください
・さらに別府大学を発展できるように研究に頑張ってもらいたいと思います。
・授業は受けよう
・大学は自分から動かなければ成長することが難しいと思う。
・今目の前にあることに向かって一生懸命頑張ってください。応援しています。
・今までと違う環境が長く続いていますが、諦めずに学生生活を送って欲しいです。
・就活の為でもありますが、4 年間もっと色々なことできたなぁと今思ってるので、特に 1・2 年のときに何か挑戦しておくべきだと思いました。
・卒論はさっさと書きましょう。
・勉強をしっかりしないと後で後悔するので、しっかりとやったほうがいいと思う。
・学年があがると求められることも増え、授業は減ったはずなのに苦労は増えたと感じます。でも、自分もスキルアップしているはずです。実際に、今の私は 2、3 年生の頃のレポートを見ると、よくこれで提出できたなと思います。皆さん大変なこともあるとは思いますが、一つひとつこなしていけば成長に繋がると思うので頑張ってください。
・やればやっただけ自分の身に付くし自分の為になるから、くれぐれも無理はしないように頑張って

欲しい。
・就職がなかなか見つからなくても最後まで諦めない出ください。時間がかかっても大丈夫です。私も 12 月までかかりましたが、自分が行きたい所に就職できました。みなさんも自分が行きたいところに就職してください。応援しています。
・研究頑張ってください。
・割と 1 人でも何とかなります。でも、仲間は作っておいた方が、気持ち的にもきっと楽です。沢山しんどいこともあると思いますが、自分の「学びたい」という意思を大事にしてあげてくださいね。
・国際経営学部の先生たちは、質問や相談をしやすいので困ったことがあれば積極的に先生に相談したほうがいい。
・不満は早く言った方がいいです。卒業する時に言っても無駄になるから。
・取っても損はありませんしいつか役に立つときが来るかもしれませんので、とれる資格はできるだけ取っておきましょう。
・英語は特に集中して講義に臨んだ方がいい。
・大学生活を死ぬ気で楽しんでほしい。
・大学生活楽しんでください。
・自分がやりたいと思ったことは周りの意見も取り入れておくべし。
・頑張りましょう
・後輩の皆様、卒業するまでちゃんと受業を受け頑張って行って下さい！
・就活頑張って下さい。
・大学の時間を大切にする。
・自分は編入学で、まだまだ知識を技術も足りないですが、なんとか就職が出来た。将来やりたいことを明確にして取り組めればやりたいことが出来ると思うので頑張って欲しいです。勉強以外にもアルバイトや遊びにも取り組んで欲しいのと難しい本だけでなく、たまには小説などを読んで息抜きをして欲しいです。意外と何かのヒントになるかも？
・専門的な知識を学ぶために一生懸命働く。
・学校の資源をうまく利用すれば役に立つ。
・レッスンごとの宿題の提出時間を覚えておき、できればその日のうちに終わらせたほうがいい。
・真実はわれらに自由にする。